

取扱説明書

家庭用 BL認定品



ふる自動・アメニティ機能 給湯暖房機

自動湯はりタイプ	135-0030	135-0040
	135-0034	135-0044
	135-0032	135-0042
	135-0035	135-0045
	135-0036	135-0046
	135-4060	135-4065
	135-4064	135-4066
	135-4062	

全自動タイプ	135-1300	135-1400
	135-1304	135-1404
	135-1302	135-1402
	135-1305	135-1405
	135-1306	135-1406
	135-2000	135-5000

型名	
RUFH-V2400SAW2-6	RUFH-V2400SAW2-1
RUFH-V2400SAA2-6	RUFH-V2400SAA2-1
RUFH-V2400SAT2-6	RUFH-V2400SAT2-1
RUFH-V2400SAB2-6	RUFH-V2400SAB2-1
RUFH-V2400SAU2-6	RUFH-V2400SAU2-1
RUFH-V1612SAW2-1	RUFH-V1612SAB2-1
RUFH-V1612SAA2-1	RUFH-V1612SAU2-1
RUFH-V1612SAT2-1	
RUFH-V2400AW2-6	RUFH-V2400AW2-1
RUFH-V2400AA2-6	RUFH-V2400AA2-1
RUFH-V2400AT2-6	RUFH-V2400AT2-1
RUFH-V2400AB2-6	RUFH-V2400AB2-1
RUFH-V2400AU2-6	RUFH-V2400AU2-1
RUFH-VD2400AW2-1	RUFH-VD1610AW2-1

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。この製品は国内専用です。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
特長	6
各部のなまえとはたらき	7
はじめてお使いのときは、まず	14
使用方法	
時計の合わせかた	15
自動運転のしかた	16
ふる温度の調節方法	17
保温時間の変更方法	18
湯はり量（水位）の調節方法	19
おいだきしたいときは	20
おふるをぬるくするには	21
お湯をふやしたいときは	22
お好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた	23
シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節	25
給湯保温運転の使いかた	27
ゆらぎのシャワーの使いかた	29
音声やメロディーの大きさ（音量）を変えるには	31
暖房の使いかた	33
冬期の凍結による破損防止について	35
点検・お手入れのしかた	38
故障！とお考えになる前に	39
長期間使用しない場合は	41
故障・異常の見分け方と処置方法	42
主な仕様・能力表	43
アフターサービスについて	46

安全上のご注意

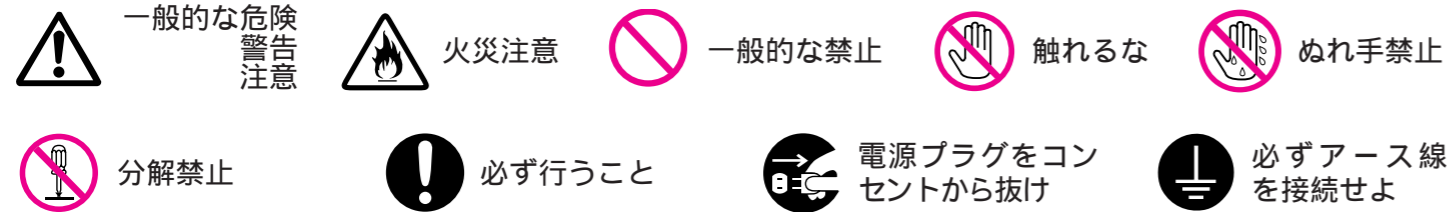
この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

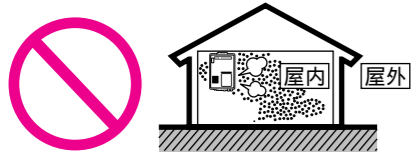
傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。



危険

屋内設置禁止



この機器は屋外用です。
屋内や浴室に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

機器の異常に気付いたら

給湯栓をすべて閉める。



必ず行う

ガス栓を閉める。



使用中に異常な燃焼・臭気(ガスにおい)・異常音を感じたときはあわてずに運転を停止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。地震や火災発生時もあわてずに運転を停止してください。

警告

工事は資格必要



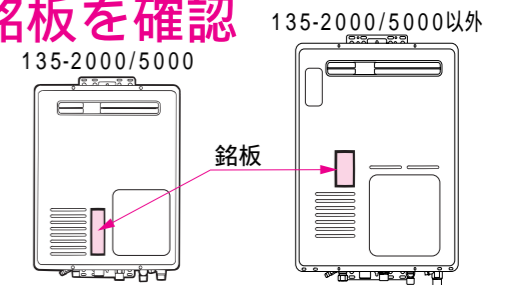
必ず行う

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器の銘板を確認



必ず行う



使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や爆発点火の原因となります。

下図は銘板の一例です。

型名	RUFH-V2400SAW2-6
ガスの種類	RUFH-V2400AW(SAW) 屋外式 都市ガス 13A用 12A用 最大
電源	定格電圧 AC100V 定格周波数 50/60Hz
製造年月	定格消費電力 01.03 012345 (右は2001年 3月生産の例)
品名	凍結予防ヒータ 作動時
	(N)135-0030(U) 大阪ガス株式会社

この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

お子様に対する注意

浴槽の循環アダプター付近で水に潜ったりすると思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。
お風呂を沸かしているとき(浴槽に湯はりしているとき)に子供を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

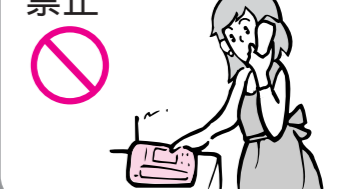
火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止



電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止



ガスのにおいのある場所での電話の使用禁止



ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

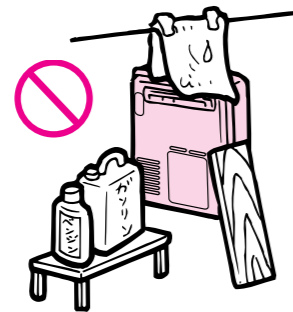
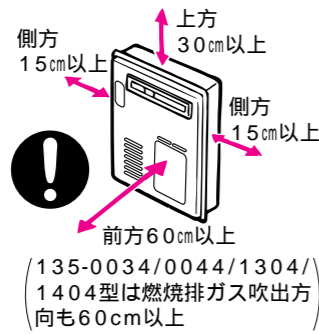
火災予防のために必ず守ること

機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保すること。

排気口・排気トップが洗たく物などでおおわれぬようにすること。機器周辺に紙や木材などの燃えやすい物を置かないこと。

機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。

機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



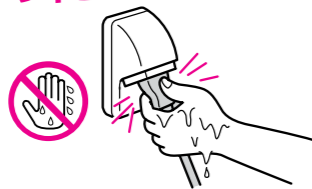
用途について

給湯・シャワー・ふろのおいだき・暖房以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

感電防止のために

感電の恐れがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。



やけど防止のために必ず守ること

お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの恐れがありますので、出始めのお湯は手や体にかけないでください。

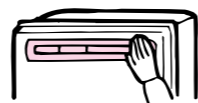
シャワー(上がり湯)を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、湯温を十分に確認してから行ってください。

シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。

パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。



使用中や使用直後は排気口・排気トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。おいだき中やおいだき後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があるので、十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどの恐れがあります。



⚠️ 注意

機器の破損防止のため必ず行うこと

冬期に水道水が凍結する恐れがある日は、下記のいずれかの方法で凍結予防を行ってください。(35～37ページ参照)

- 1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法
- 2 給湯栓から水を流す方法
- 3 水抜きによる方法

電気事故防止のために

電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火による火災の恐れがあります。電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。電源プラグやコンセント・電源コードが痛んでいるときは使わないでください。感電や火災の原因になります。

低温やけど防止のために

床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。

- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
- 疲労の激しいときや深酒をしたとき
- 皮膚の弱い方

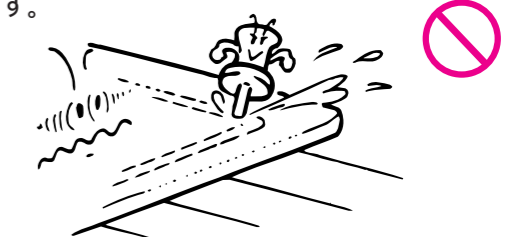


床暖房の破損防止のために

床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。



カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



ゆらぎのシャワー使用上の注意

次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

- 妊娠中の方
- 医者から入浴を禁じられている方
- お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- 高血圧の方
- 体力の弱っている方
- 体調の悪い方



お願い

乾電池に関するご注意

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

安全上のご注意

お願い

機器の設置状態についての確認

機器は傾いて設置されていませんか？
冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
棚の下など落下物の危険はありませんか？
メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因となります。
以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。ガラスなどの変形・変色の原因となります。

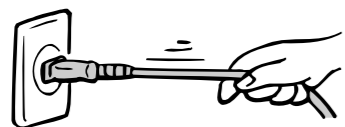
この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。

この機器は太陽熱温水器と接続できません。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っ掛けてプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。



リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようにご注意ください。思わぬ事故や故障の原因となります。



浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所および増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。



リモコンのお手入れにベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。



入浴剤などについて

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分ご参照ください。



塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。

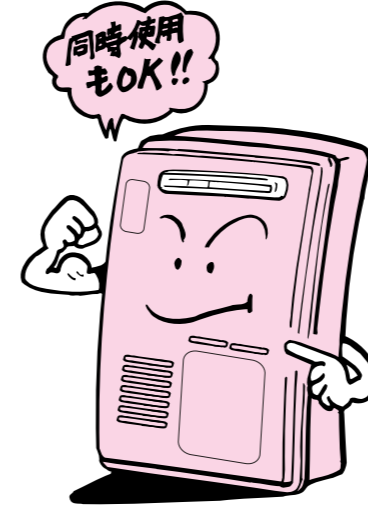


給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

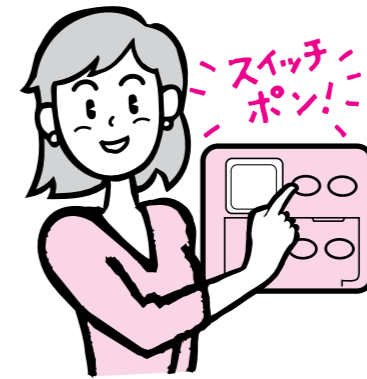
浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。ふさくと循環不良となり、おふる沸かしができません。

特長

給湯も暖房もおふる沸かしもこれ一台でOKです。



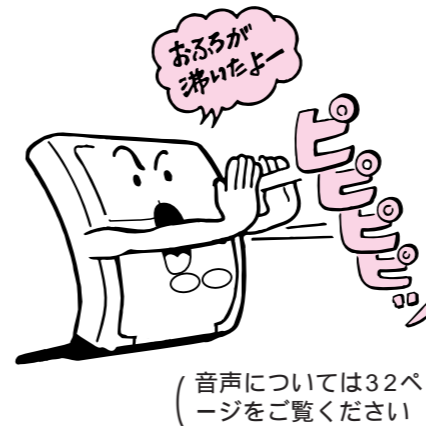
スイッチ、ポンで湯はりができ、湯はりが終わると音楽と音声でお知らせします。(16ページ参照)



お好きな時刻におふるに湯はりする予約運転ができます。(23ページ参照)
台所リモコン設置時のみ



リモコンにはスピーカーを内蔵しており、各スイッチ操作時には音声でお知らせします。



(音声については32ページをご覧ください)

湯量と湯温の見りは機器におまかせ。(自動運転時)
湯量については全自動タイプのみ



『ゆらぎのシャワー』で心と体のリフレッシュ!!(29ページ参照)



ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/fのゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

おいだき配管の「セルフクリーン機能」付き。(全自動タイプのみ)

・全自動タイプはおふるのお湯を排水したときに自動的にふるのおいだき配管の残り湯を洗い流す「セルフクリーン機能」を持っています。

リモコンの運転スイッチが『入』で自動スイッチが『切』のときに浴槽の排水栓を抜いてください。

・残り湯が循環アダプター付近まで減ると、循環アダプターから約5リットルのお湯が出て配管の残り湯を洗い流します。ただしこの機能は、自動運転(16ページ参照)を行った後に浴槽のお湯を排水したときしかはたらきません。また、運転スイッチを『切』の状態ですら残り湯を排水すると「セルフクリーン機能」ははたらきません。

・セルフクリーン運転中は、表示画面に自動運転と同じ表示が出ます。

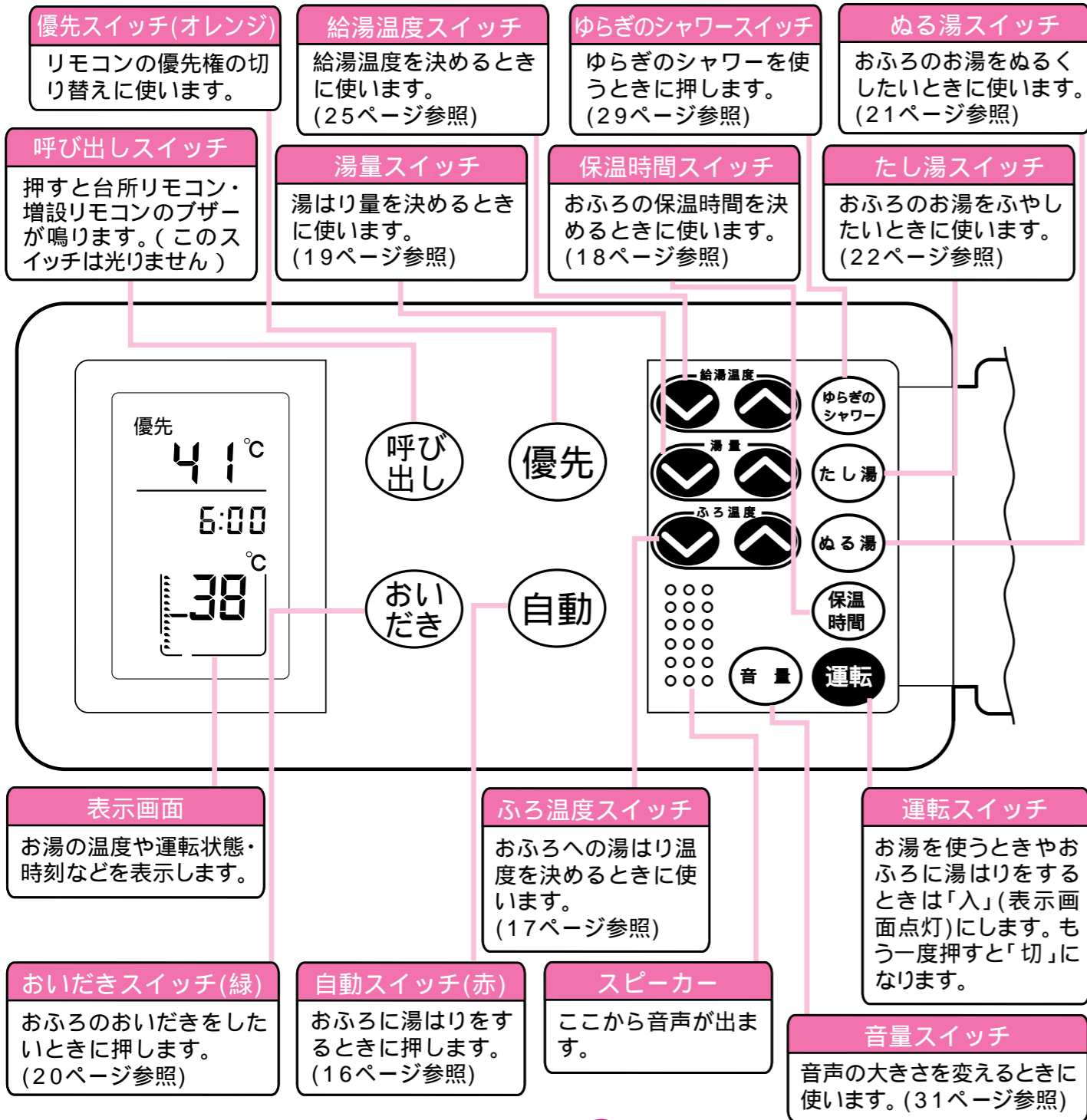
・セルフクリーン運転中にお湯を使うと、セルフクリーン機能は解除されます。

・自動スイッチを『切』にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプ停止後(循環アダプターからお湯が出なくなってから)にしてください。

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン）

浴室リモコン(別売品 138-3032～3034のいずれにも付属)

浴室に設置されているリモコンで、台所リモコンとセットで使用するタイプです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

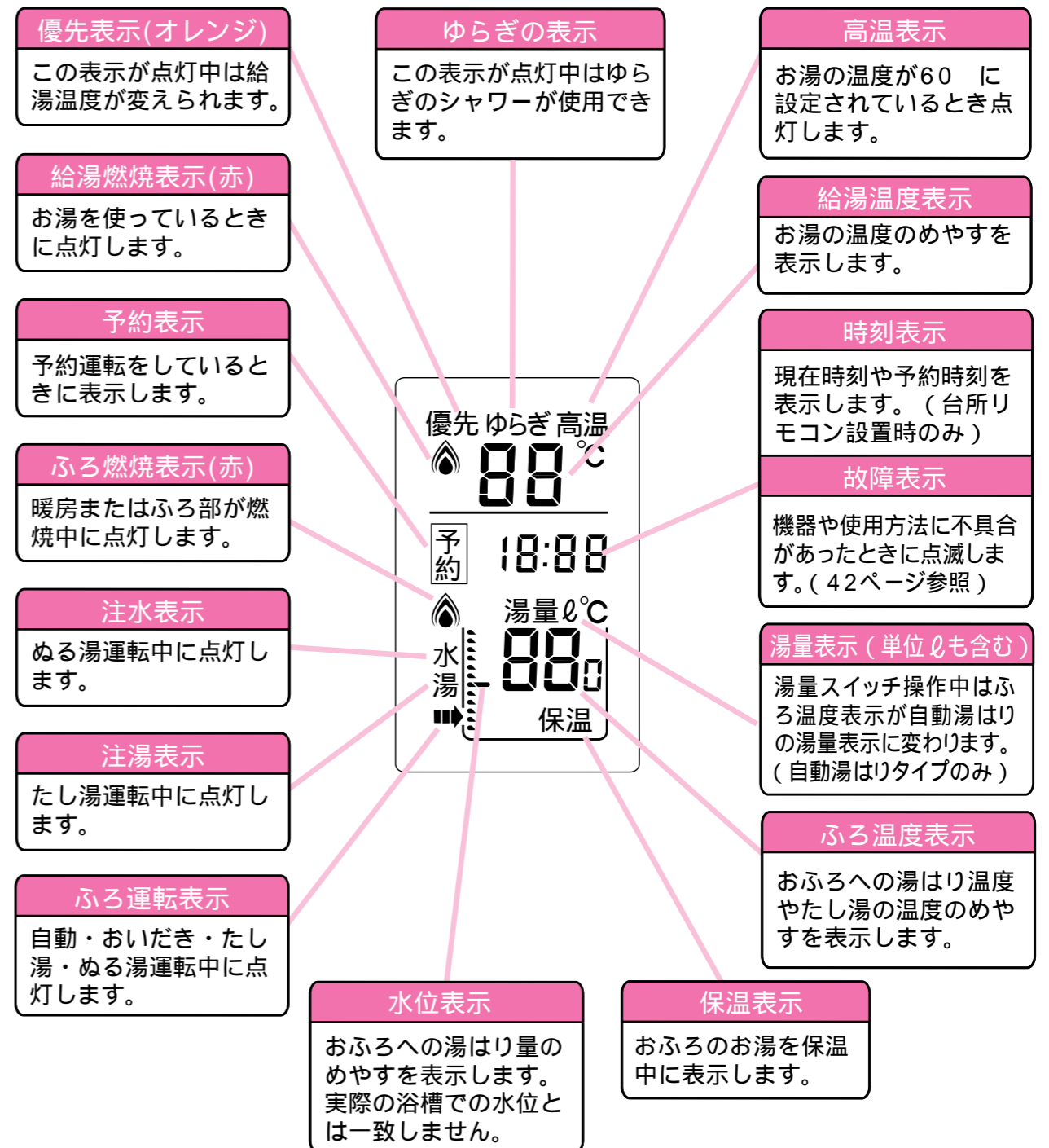


スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

- ・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- ・操作確認音およびおふろへの湯はり完了の音楽や音声は、給湯温度スイッチ 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

浴室リモコン表示画面のみかた

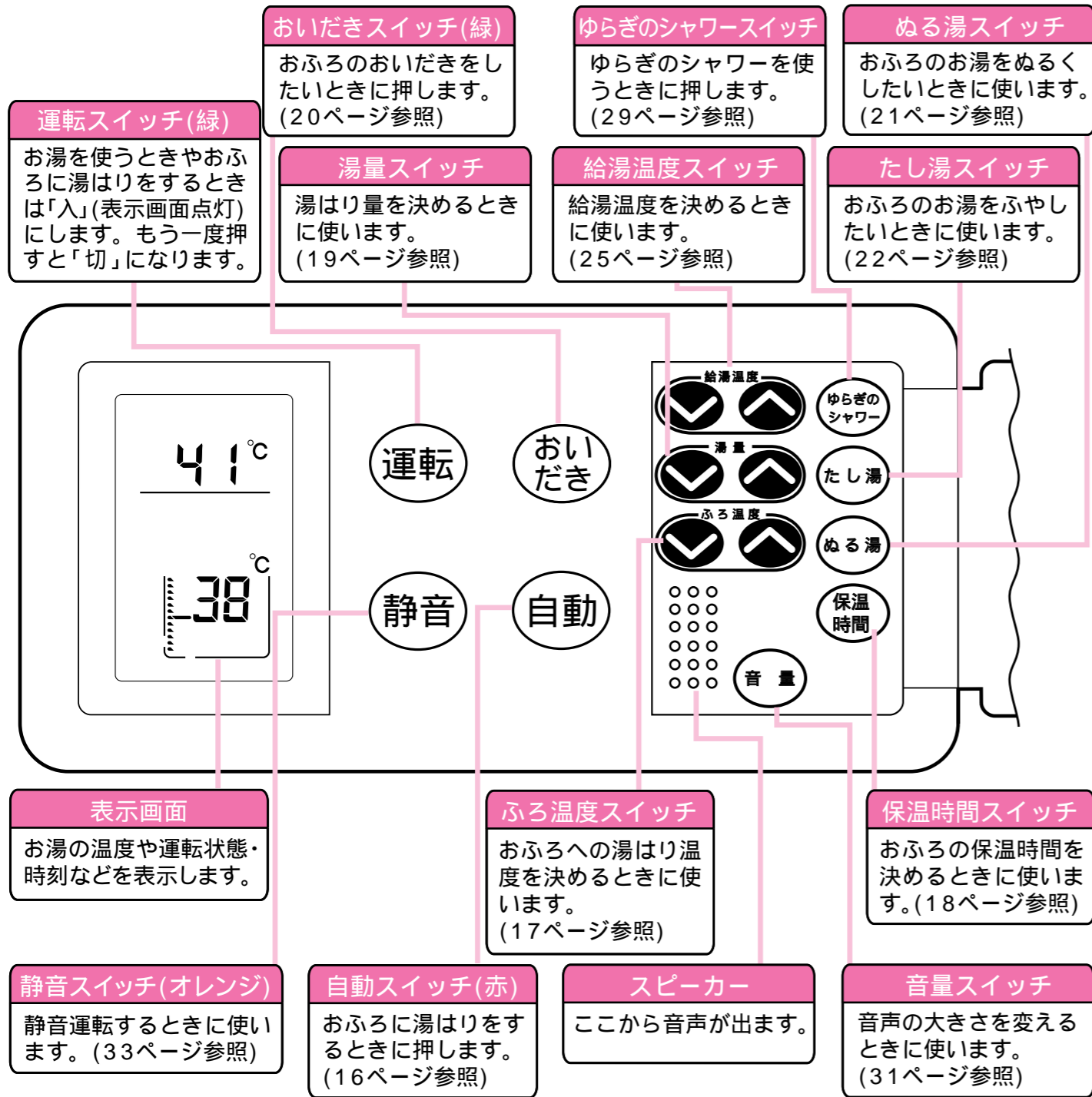
スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



各部のなまえとはたらき(浴室リモコン)

浴室リモコン(別売品138-3023)

浴室に設置されているリモコンで、浴室リモコン単独で使用するタイプです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。



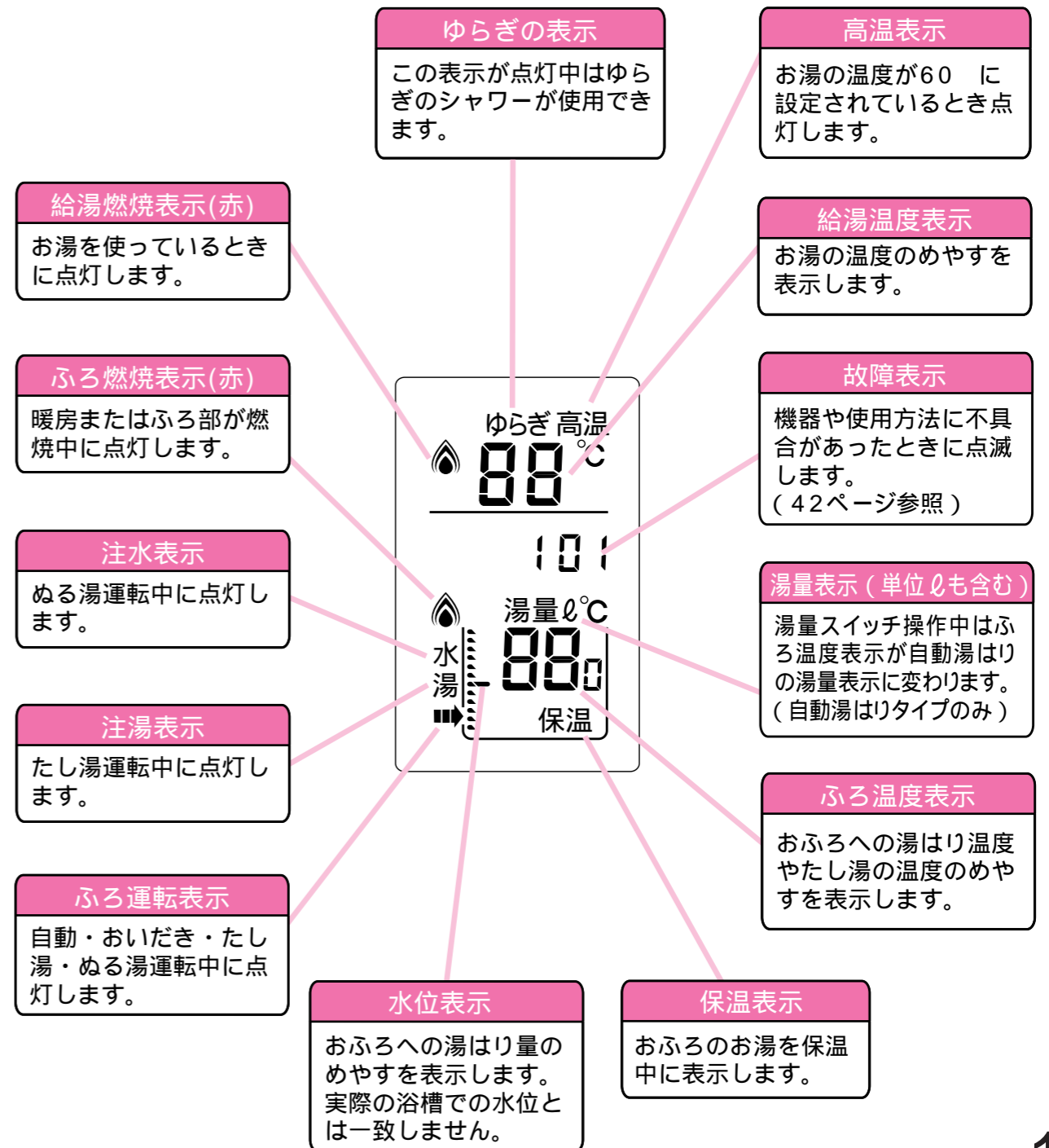
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

お願い

- ・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- ・操作確認音およびお風呂への湯はり完了の音楽や音声は、給湯温度スイッチ 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

浴室リモコン表示画面のみかた

スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



各部のなまえとはたらき(台所リモコン)

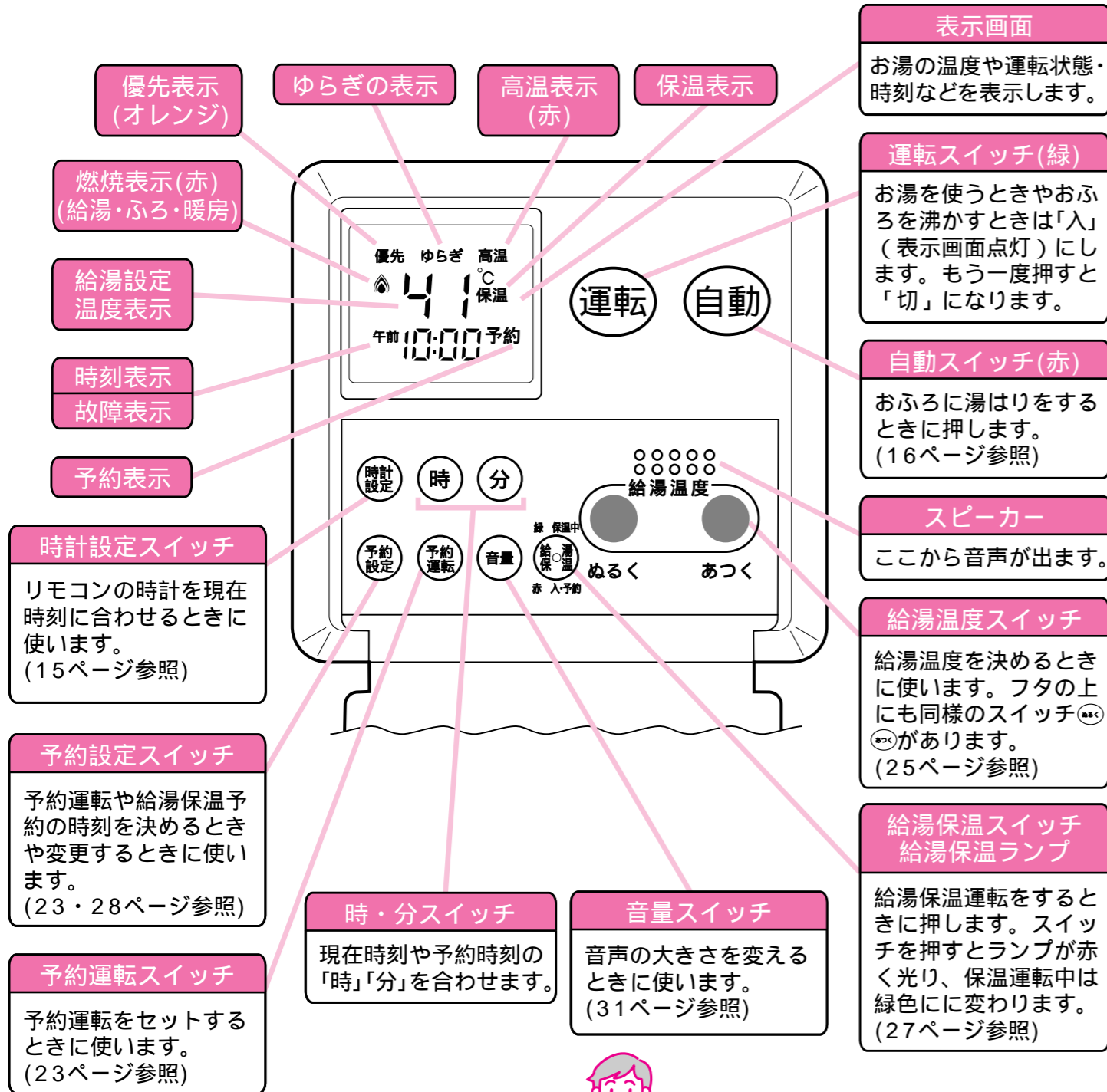
台所リモコン(別売品 138-3032に付属)...標準タイプ

台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。

スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。

点灯しない場合は、もう一度操作してください。

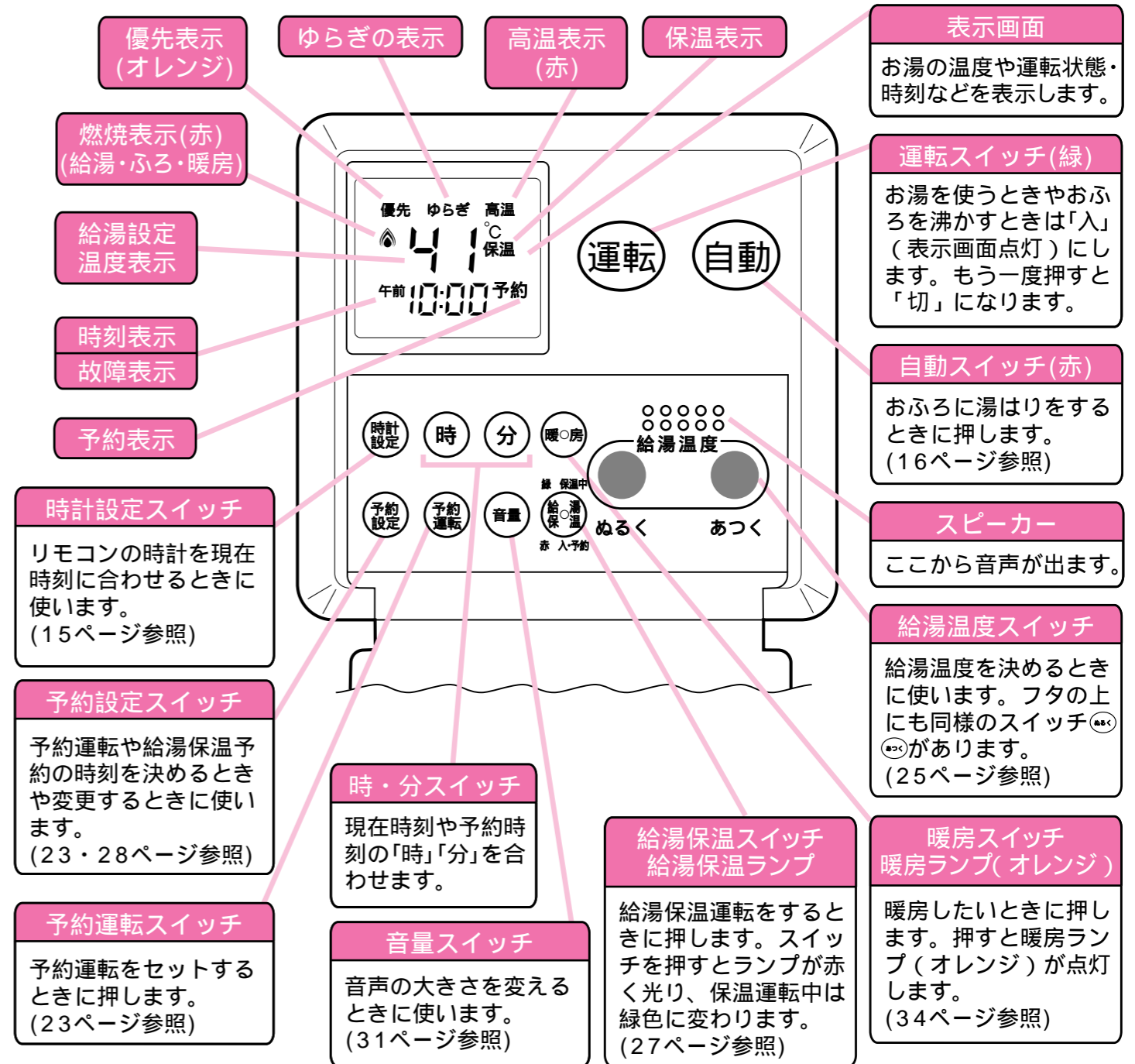
表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



お願い
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

- ・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- ・操作確認音およびお風呂への湯はり完了の音楽や音声は、給湯温度スイッチ(ぬるく/あつく)2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

台所リモコン(別売品 138-3033に付属)...暖房スイッチ付き



お願い
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

各部のなまえとはたらき(台所リモコン・増設リモコン)

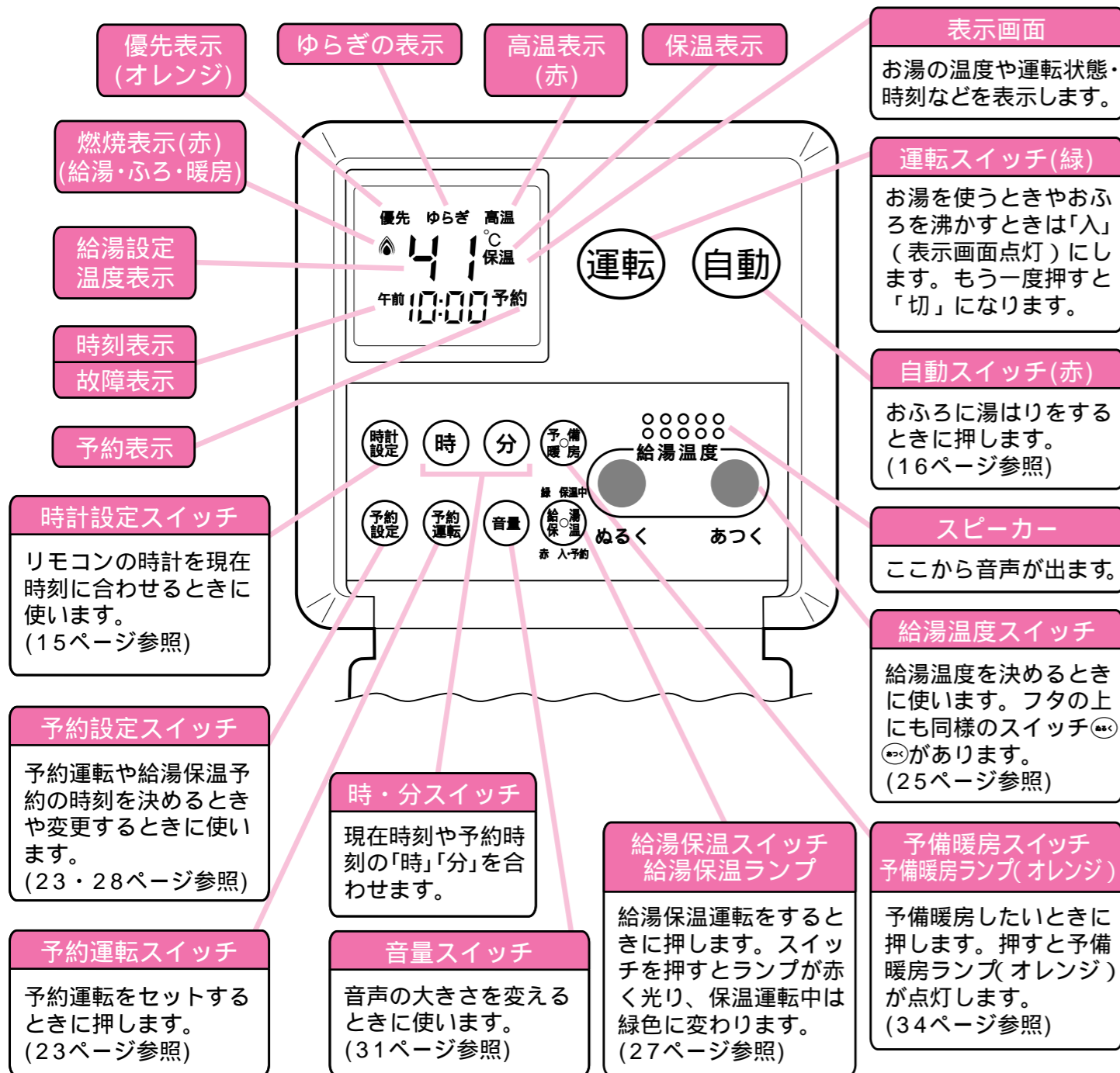
台所リモコン(別売品 138-3034に付属)...予備暖房スイッチ付き

台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。

スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。

点灯しない場合は、もう一度操作してください。

表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

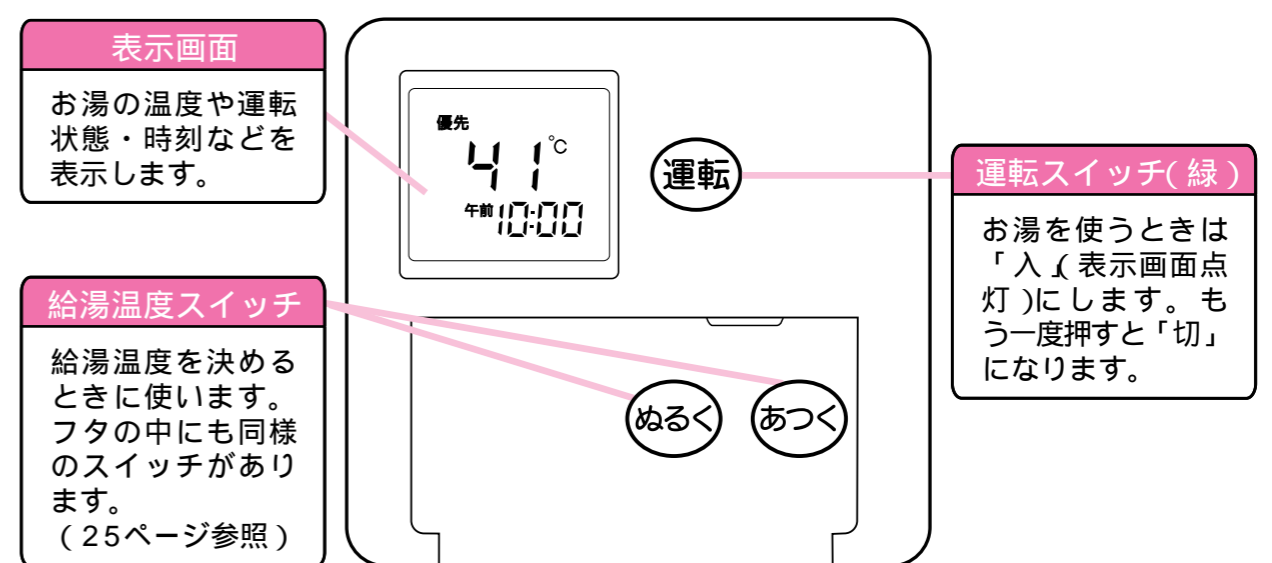
・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
 ・操作確認音およびお風呂への湯はり完了の音楽や音声は、給湯温度スイッチ(ぬるく、あつく)2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

増設リモコン(別売品 138-0003)

洗面所などにこのリモコンを取り付ければ手もとで給湯温度を変えることができる便利なリモコンです。

スイッチを操作した場合は、操作確認音や音声と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。

表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



はじめてお使いのときは、まず...

1. 給水元栓を全開にします。

全開にする

機器の下部
2. 給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから閉めます。(すべての給湯栓について)

お湯の使用場所
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

機器付近の壁・分電盤
4. ガス栓を全開にします。

全開にする

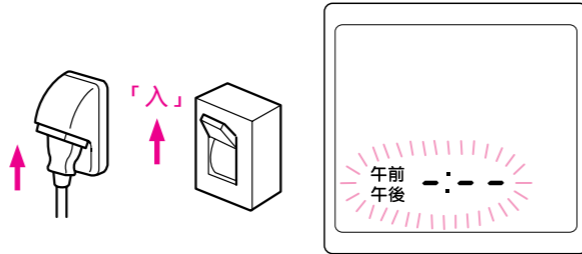
機器の下部

台所リモコンで操作します。

- ・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。(予約運転もできません)
- ・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

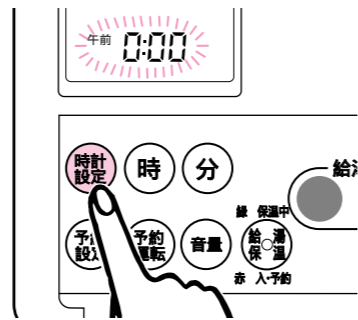
1 電源プラグをコンセントに差します。

電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にすると、右図の表示が点滅します。



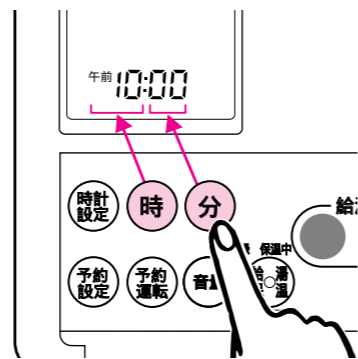
2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。

時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が午前 0:00 となり点滅します。



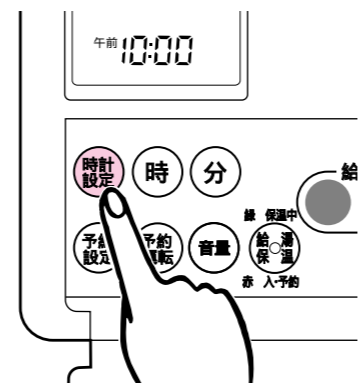
3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。

時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 時計設定スイッチを再度押します。

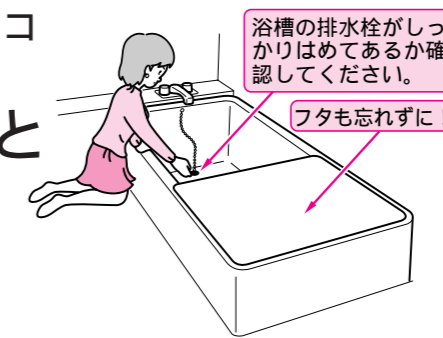
時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。以上で時刻合わせは完了です。運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。運転スイッチを「切」にすると、台所・増設リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、浴室リモコンではすべての表示が消灯します。



- ・午前と午後を間違えないようご注意ください。
- ・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には午前午後 --- の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。

1 浴槽に排水栓とフタをします。



- ・おふろの温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、17~19ページをご覧ください。
- ・自動湯はり中には循環アダプターから泡が出てくる場合があります。
- ・全自動タイプでは、入浴後運転スイッチが「入」で自動スイッチが「切」のときに浴槽の排水栓を抜くと「セルフクリーニング機能」がはたらきます。(6ページ参照)

2 運転スイッチを押します。

表示画面に給湯・ふる設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。



3 自動スイッチを押します。

音声で「湯はります」とお知らせして自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には上図の表示が出ます。また、湯はり完了の約5分前には「残りおよそ5分でおふろが沸きます」とお知らせします。(注)残り湯があるときに自動運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。



- ・湯はりに給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。
- ・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチ(赤)が消灯していることを確認してから行ってください。
- ・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
- ・保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ(22ページ参照)を押してください。約20リットルのお湯をたします。

湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。

保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的に(注)においだし、全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は18ページの保温時間スイッチで決めます。

(注)ふる設定温度などによって異なりますが、約10~40分ごとにふる温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっていれば自動的においだきます。

保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチ(赤)を押して消灯させてください。

湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用すると湯はりが中断され、給湯栓からはふる設定温度のお湯が出ます。お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。(配管条件によって異なります)

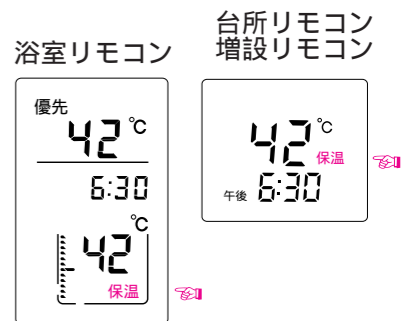
配管条件などによっては、湯はりしながら給湯することもあります。その場合湯量が極端に少なくなることがあります。保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだしスイッチ(20ページ参照)を押すか、ふる温度スイッチの▲を押してふる設定温度を上げてください。

前日の残り湯を沸かし直す場合、自動スイッチを使うと湯量がふえ、お湯があふれることがあります。残り湯の量が十分にあるときの沸かし直しは、おいだしスイッチ(20ページ参照)をお使いください。

残り湯で循環アダプターがかくれている場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。(自動湯はりタイプ) 夏期など給水温度が高い場合、水はり後「おふろが沸きました」とお知らせしてから沸きあげ運転を行うことがあります。

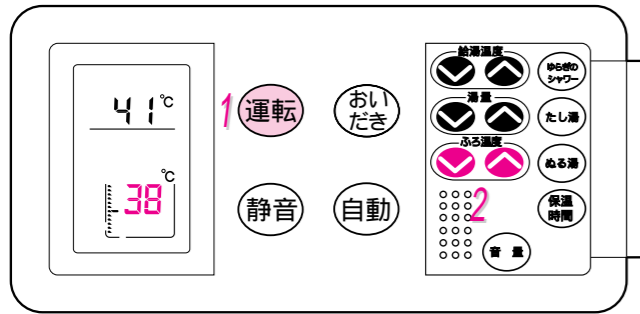
残り湯で循環アダプターがかくれている場合、水位が多少バラツキます。(自動湯はりタイプ)

特に残り湯の温度がふる温度設定に近いときは、約16リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。

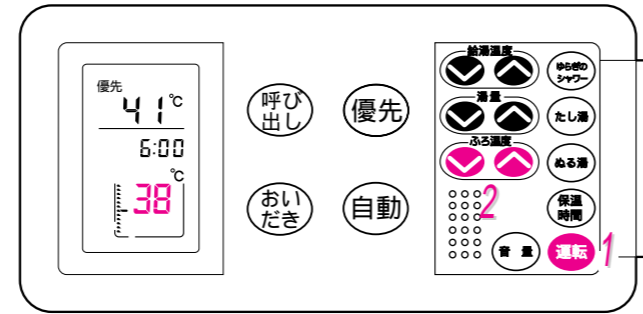


浴室リモコンで操作します。

(138-3023)



(138-3023以外)



1 表示画面の点灯を確認めます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

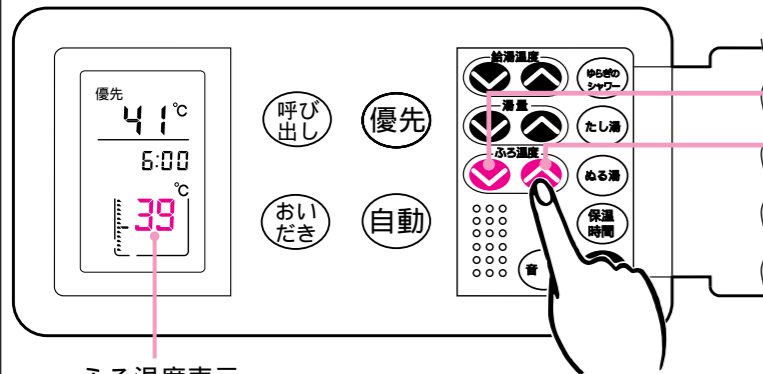
138-3023



138-3023以外
(フタの中)



2 浴室リモコンのフタの中にあるふる温度調節スイッチを押します。



ぬるくなる
あつくなる

お買い上げの際には、ふる温度(おふるへの湯はり温度)を42に設定してあります。このままでもご使用いただけますが、お好みの温度に変えることができます。

ふる温度表示

- ▲を押すと上がるメロディーと共に「ふる温度をあつく」とお知らせします。
 - ▼を押すと下がるメロディーと共に「ふる温度をぬるく」とお知らせします。
- 設定できる温度は37 ~ 48 の12段階です。
- 1 きざみで一回スイッチを押すと1 変わります。
- 押し続けると、45 以下の設定では連続で表示が変わりますが、46 以上にしたときはスイッチを一回ずつ押してください。
- 温度表示はめやすです。



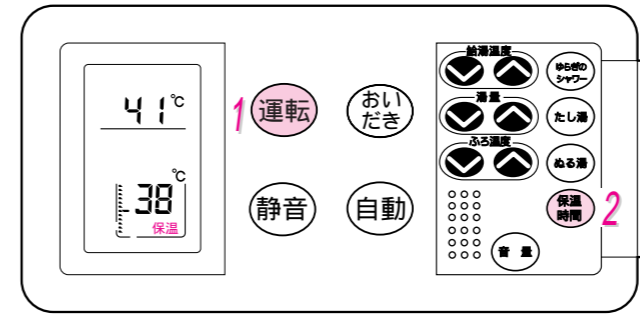
ぬるい ふつう あつい

あとは自動スイッチを押すと、設定した温度で湯はりして、自動的にストップします。

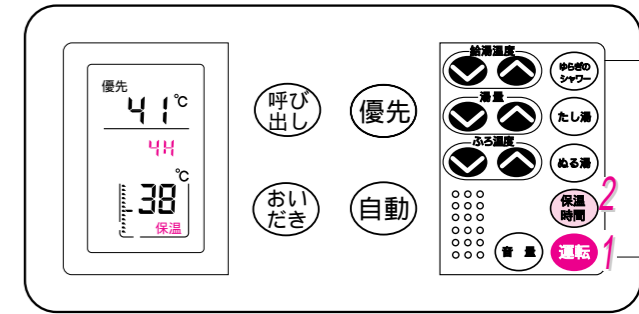


浴室リモコンで操作します。

(138-3023)



(138-3023以外)



1 表示画面の点灯を確認めます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

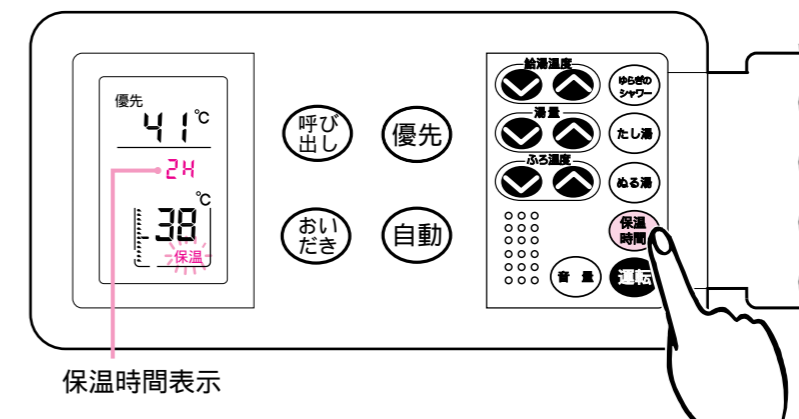
138-3023



138-3023以外
(フタの中)



2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。



保温時間表示

音声で「保温時間を変更できます」とお知らせすると共に、表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4Hとなり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。

保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4 2 1 0 8 6 4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。このとき音声で「保温時間を変更されました」とお知らせします。上図は2時間に設定した場合の例です。

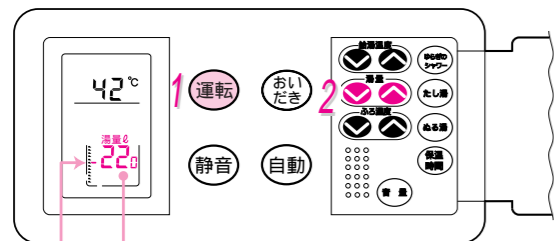
保温時間を0時間にセットすると、音声で「保温しません」とお知らせします。最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。

浴室リモコンで操作します。

運転スイッチが「入」のときにフタの中にある湯量スイッチを押します。

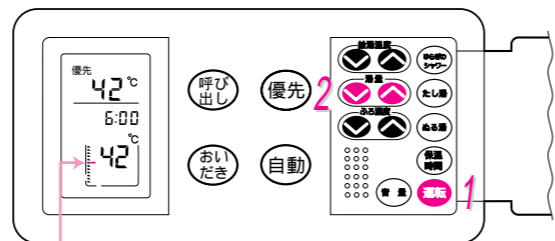
自動湯はりタイプと全自動タイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになっています。

自動湯はりタイプの場合



水位表示 湯量表示 イラストは138-3023以外の例

全自動タイプの場合



水位表示 イラストは138-3023の例

自動湯はりタイプという湯量とは、浴槽に湯はりするお湯の量をいいます。

はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目(赤い線)で示されます。

湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。このとき、上がるメロディーと共に音声で「湯量を多く」とお知らせします。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、▲スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき水位表示は表示されません。湯量スイッチの▼を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。このとき、下がるメロディーと共に音声で「湯量を少なく」とお知らせします。ただし、80リットルや60リットルに設定するときには、▼スイッチを1秒以上押し続けてください。湯量スイッチを押してから約5秒間は、表示画面のふる設定温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふる温度表示に戻ります。

▲を押すとふえる
初期設定
▼を押すとへる

湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

全自動タイプという湯量(水位)とは、循環アダプターから何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。

はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目(赤い線)になります。この設定の場合、循環アダプターから約17cmの位置まで湯はりして自動停止します。ただしこの位置は、浴槽の形状などによってバラつきしますので、下記の方法でお好みの水位に設定してお使いください。

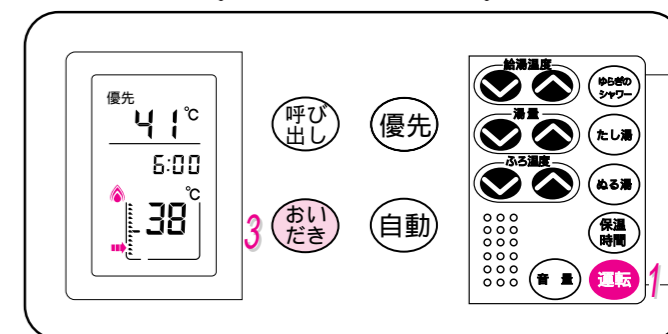
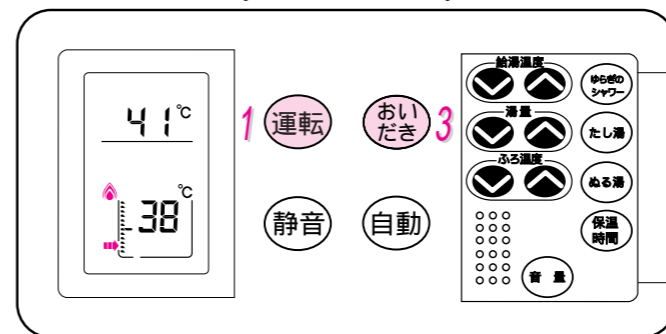
湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛上がり、上がるメロディーと共に音声で「湯量を多く」とお知らせします。また、▼を押すたびに1目盛下がり、下がるメロディーと共に音声で「湯量を少なく」とお知らせします。1目盛で水位が約2cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプターから約7cm上、最高で約29cm上になります。ただし浴槽によっては、高い水位に設定するとお湯があふれることがあります。

機器本体が和バス(洋式バス以外の浴槽)用の設定になっている場合、水位を下から6番目(赤い線)に設定すると循環アダプターから約25cm上まで湯はりします。1目盛は約3cmになります。

浴室リモコンで操作します。

(138-3023)

(138-3023以外)



1 表示画面の点灯を確かめます。

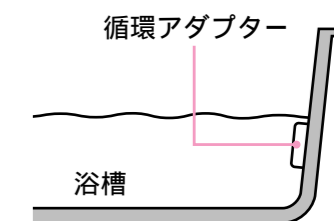
表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

138-3023

138-3023以外
(フタの中)

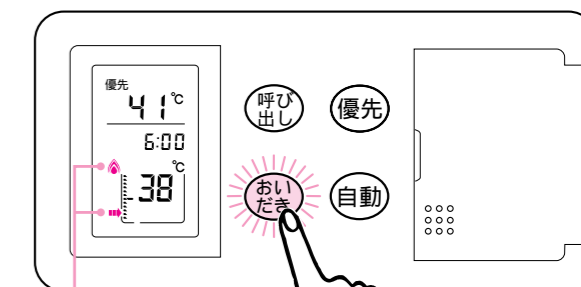


2 浴槽に、循環アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認します。



3 浴室リモコンのおいだきスイッチを押します。

おいだきスイッチが緑色に光り、約6分間おいだきします。このとき表示画面には右図のおいだき表示が出ます。途中で止めたいときはもう一度おいだきスイッチを押してください。水から沸き上げる場合など、約6分経過しても設定温度にならない場合は、ふる設定温度までおいだきします。



おいだき表示



おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくる場合があります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときにおいだきスイッチを押すと...

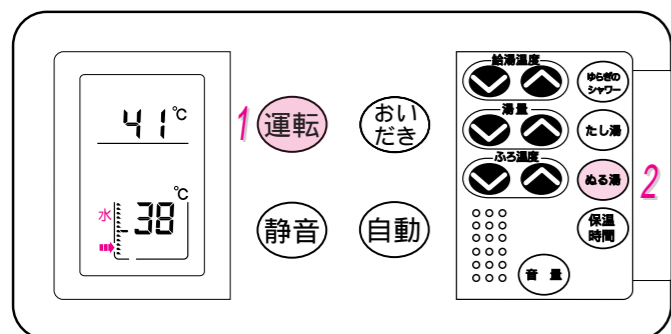
- ・自動湯はりタイプは浴槽に約6リットル湯はりしますが、おいだきスイッチは消灯しておいだき運転に入りません。
- ・全自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりした後自動運転に切り替わり、おいだきスイッチ(緑)が消灯して自動スイッチが赤く光ります。この後は、16ページの自動運転と同じ動作(湯はり・保温)に入りますので、途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。

使用方法

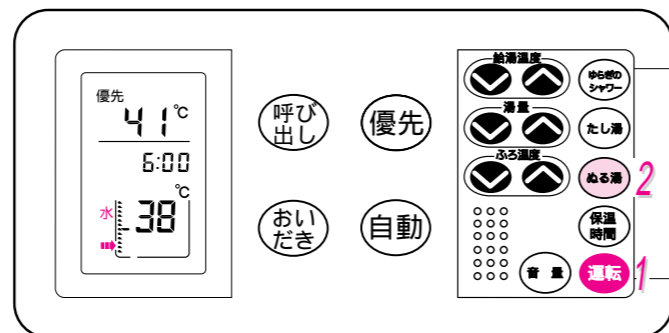
お風呂をぬるくするには

浴室リモコンで操作します。

(138-3023)



(138-3023以外)



1 表示画面の点灯を確かめます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

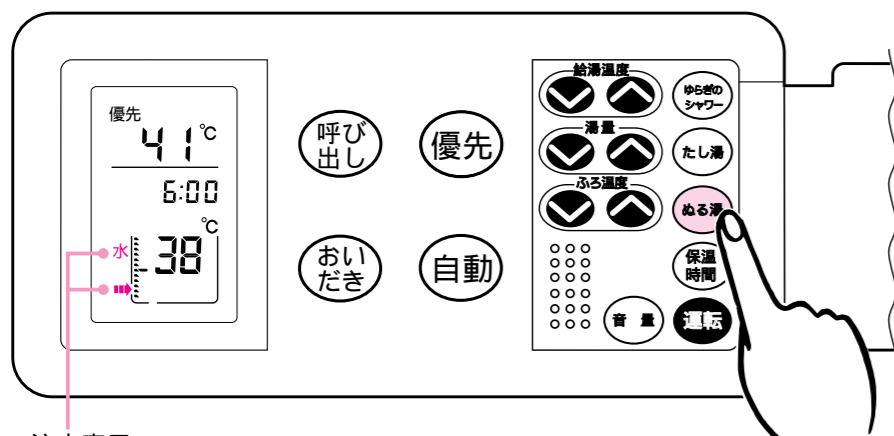
138-3023



138-3023以外
(フタの中)



2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。



注水表示

- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(29ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
- ・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
- ・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出る場合があります。

浴槽に約10リットル注水します。

(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)

ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。

途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。

ぬる湯機能が止まり、注水表示が消えます。

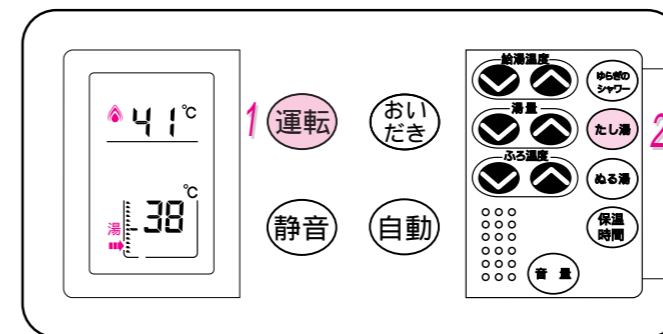
ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

使用方法

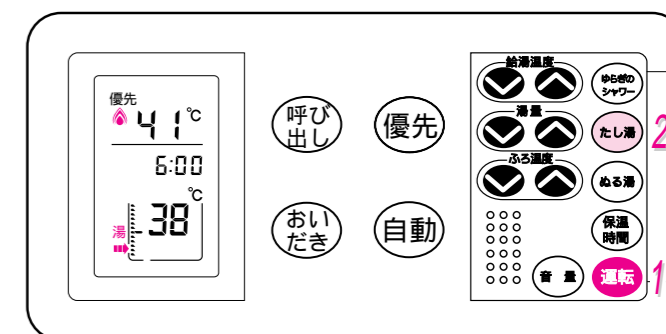
お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。

(138-3023)



(138-3023以外)



1 表示画面の点灯を確かめます。

表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

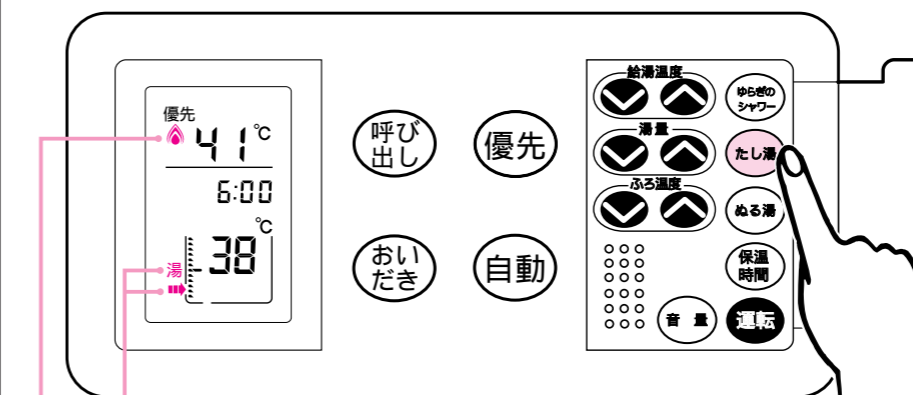
138-3023



138-3023以外
(フタの中)



2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。



注湯表示
給湯燃焼表示

- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(29ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
- ・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からはふる設定温度のお湯が出ることもあります。
- ・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出る場合があります。

浴槽にふる設定温度(上の例では約38)のお湯約20リットルを湯はりします。

(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)

たし湯運転中は上図の注湯表示と給湯燃焼表示が点灯します。

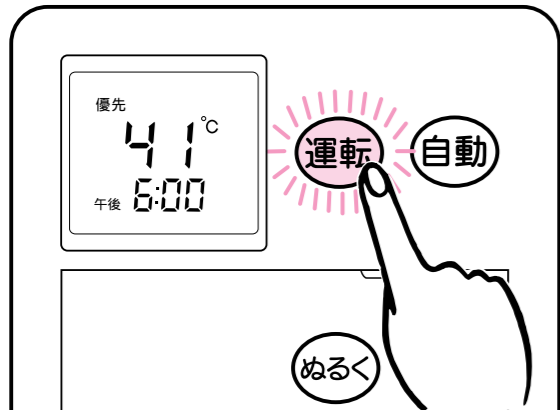
途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。

たし湯機能が止まり、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。

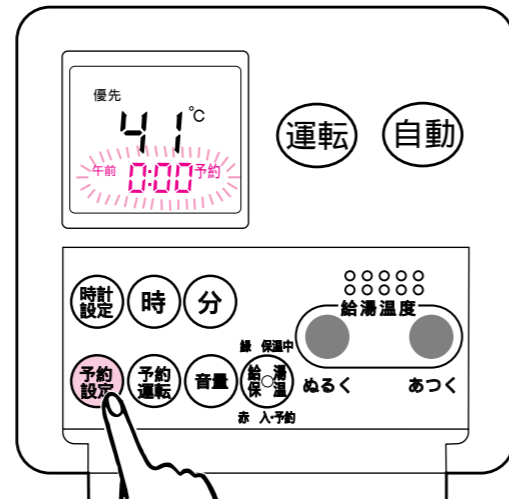


表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻が点滅しているか確認してください。

予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。毎日同じ時間におふろを沸かす（予約時間を変更しない）場合は、1・5・6の操作だけで結構です。また、予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

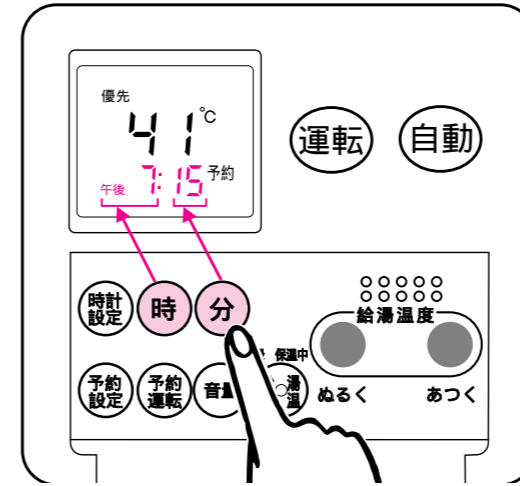
2 台所リモコンのフタの中にある予約設定スイッチを押します。

（続いて約10秒以内に3の操作に移ってください）



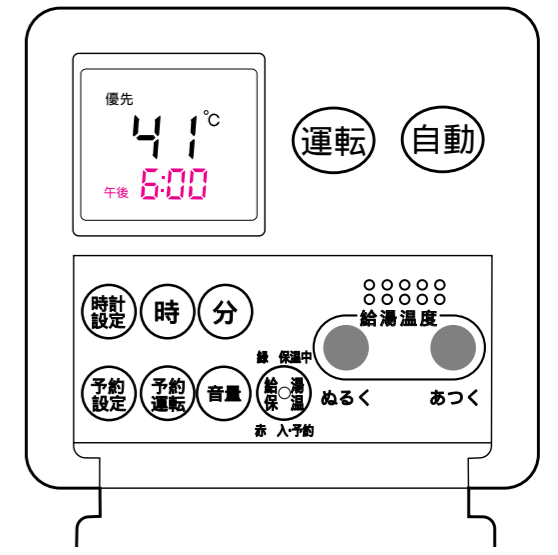
予約設定スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と午前0:00が点滅します。

3 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



湯はり完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。（午前・午後に注意!）押し続けると連続的に数字が変わります。上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

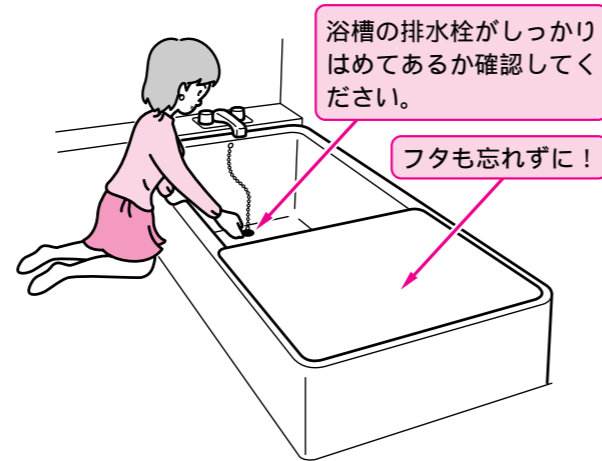
4 そのまま約10秒お待ちください。



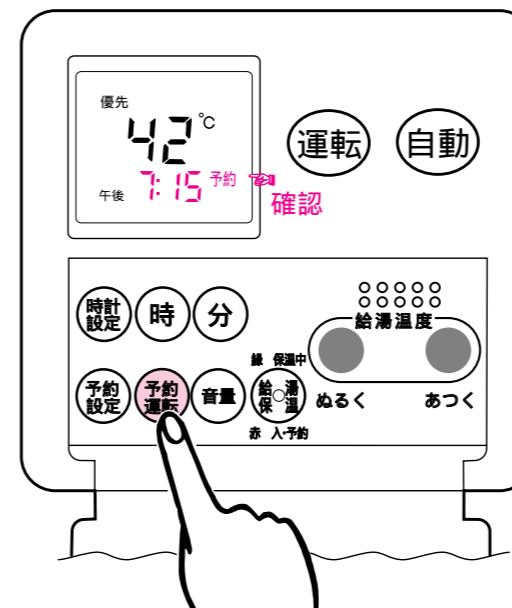
約10秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」表示が消灯します。

- ・浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- ・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもおふろへの湯はり完了しないことがあります。
- ・予約の変更はまず運転スイッチを押して予約を解除し、あとは2～6の手順で予約をし直します。
- ・予約運転を中止したいときは、もう一度予約運転スイッチを押してください。
- ・予約の表示が点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされ、予約運転の機能がはたらかなくなります。

5 浴槽に排水栓とフタをします。



6 予約運転スイッチを押します。

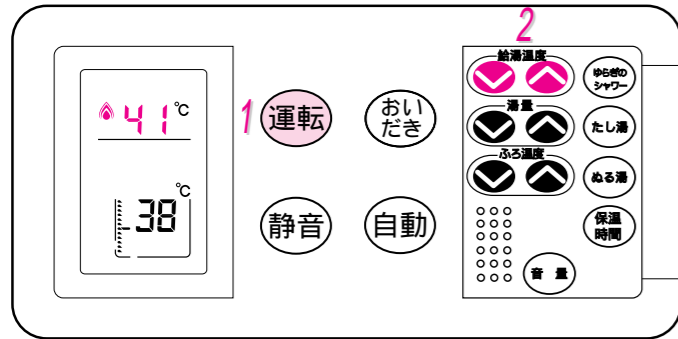


表示画面に『予約』の表示と3で決めた時刻が表示され、約3秒後に現在時刻に戻ります。これで予約ができました。あとは予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯はりを始めます。湯はり完了の約5分前には「残りおよそ5分でおふろが沸きます」とお知らせします。（注）残り湯があるときに予約運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。湯はりが完了して予約した時刻になると音楽が鳴り、音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。このとき表示画面には、上図のような「保温」の表示が出て保温運転に入ります。保温時間については18ページをご覧ください。

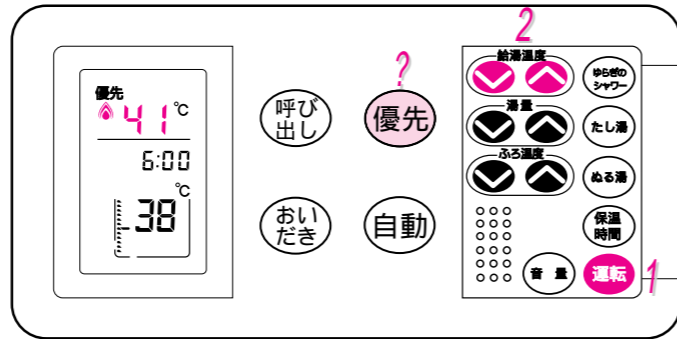
使用方法 シャワー・台所・洗面 所などの給湯温度の調節

どのリモコンでも操作できます。ただし増設リモコンからは音声は出ません。

(138-3023)

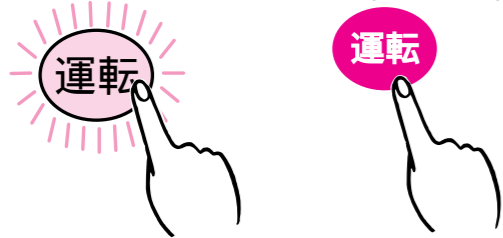


138-3023以外



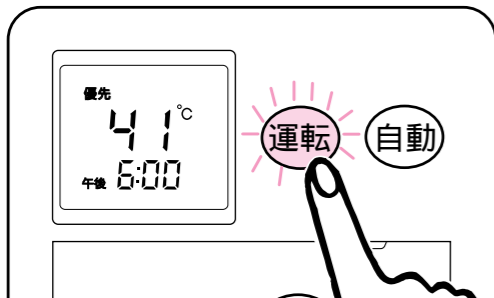
1 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合
138-3023
138-3023以外
(フタの中)



表示画面に給湯・ふる設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合



138-3023以外の場合、運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は、優先スイッチがオレンジ色に光ります。

2 給湯温度スイッチで温度を決めます。

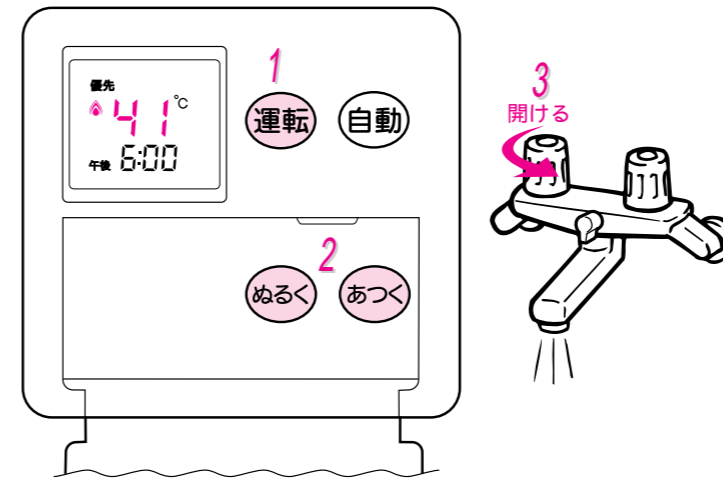
浴室リモコン (フタの中) 台所リモコン 増設リモコン



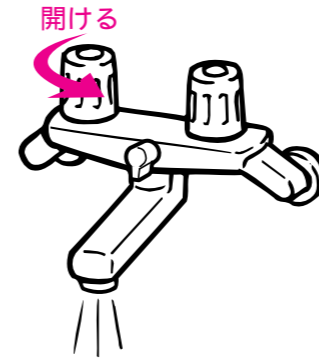
37 から60 まで上記の14段階に設定できます。温度は表示画面に表示されます。下図は60 に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。



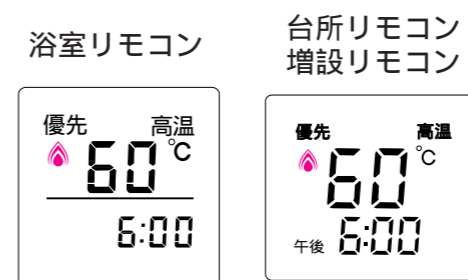
▲やあつくを押すと上がるメロディーと共に「あつく」とお知らせします。
▼やぬるくを押すと下がるメロディーと共に「ぬるく」とお知らせします。
給湯設定温度を60 にセットすると「あついお湯が出ます」とお知らせし、表示画面は上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。
スイッチを押し続けると45 以下の設定では連続で表示が変わりますが、46 以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。



3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。



湯量を絞りすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

- ・お買い上げの際には、お湯の温度を42 に設定してあります。
- ・湯量が給湯能力以上の場合、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
- ・給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりもあついお湯が出ることがあります。
- ・リモコンから出る音声について詳しくは32ページをご覧ください。
- ・湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出ることがあります。

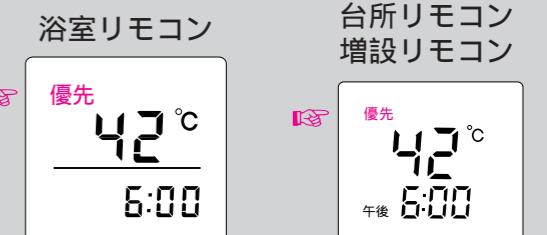
警告

高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

リモコンの運転スイッチが「切」の状態でお湯を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できない?

138-3023以外の場合、給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためです。「優先」表示が点灯していないリモコンで給湯温度スイッチを押すと、音声で「給湯温度は変更できません」とお知らせします。(増設リモコンを除く)



この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン 台所および増設リモコン 浴室リモコン...と交互に切り替わります。

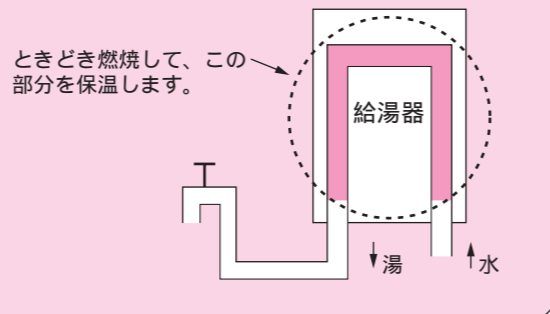


Q. 『給湯保温運転』とは何?

A. 機器内の水をあらかじめ加熱することで、お湯が出てくるまでの時間を短くする機能です。(ただし配管の中の水は保温しません) お湯を出していないときでも点火して本体内部のお湯を暖めて保温し、給湯栓を開けたとき早めにお湯が出るようにします。

Q. 給湯保温機能を使っても損しないの?

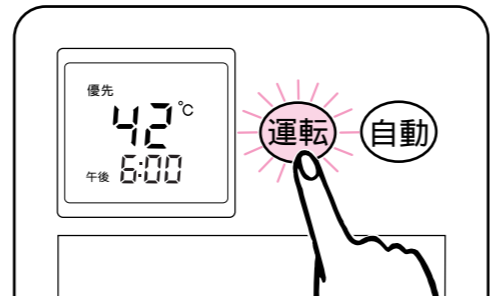
A. 早くお湯が出てくるので、お湯が出るまでに使うガス量も捨てる水の量も少なく、損にはなりません。



台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。

表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。



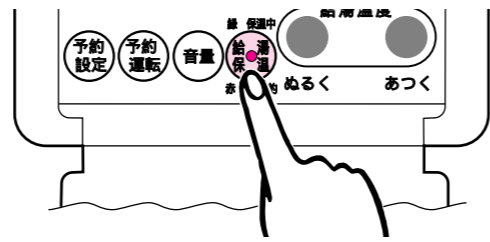
2 台所リモコンのフタの中にある給湯保温スイッチを押します。

給湯保温ランプが赤または緑色に光ります。ランプが赤のときは給湯保温運転の準備中であることを示します。

給湯保温ランプが緑のときは給湯保温運転中であることを示し、給湯保温スイッチが『切』のときと比べてお湯の温度が早く安定します。

給湯保温ランプは、1時間以上お湯を使わなかった場合自動的に赤になり、給湯保温燃焼を行わない待機状態となります。

給湯保温運転を中止したいときは、もう一度給湯保温スイッチを押して給湯保温ランプを消灯させてください。



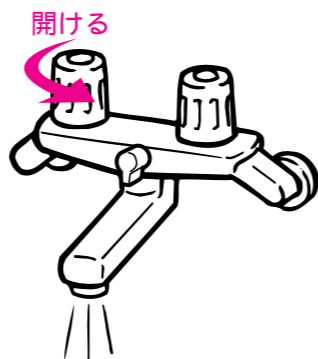
3 給湯栓を開けばお湯が出ます。

Q. 給湯保温運転の上手な使い方はありますか?

A. 朝一番にお湯を使う場合には、予約運転が便利です。寝る前にスイッチを「切」にしても、朝には自動的に給湯保温運転を開始します。給湯保温運転の予約のしかたは28ページをご覧ください。寝る前や外出されるときや長時間お湯を使わないときには、給湯保温スイッチを「切」にしてください。約1時間お湯を使わなければ、給湯保温燃焼を行わない待機状態になりますが、ご使用されない時間帯には給湯保温運転を「切」にした方が無駄が少なくなります。

Q. 給湯保温機能を使っているとき、最初に水が出るけれど?

A. 給湯配管中の水は保温できないので、その水が出るためです。



給湯保温運転を予約しておくことができます。

給湯保温スイッチを押さなくても、毎日同じ時刻に給湯保温の運転を行う便利な機能です。

現在時刻を設定しておかないと、給湯保温運転の予約はできません。

時計の合わせかたは15ページをご覧ください。

1 運転スイッチを押して『切』にします。
時刻のみ表示された状態になります。

2 予約設定スイッチを押します。
現在の予約時刻と給湯保温ランプが点滅します。
はじめは午前6時にセットされています。

3 時・分スイッチで給湯保温運転を開始したい時間をセットします。
(右図は午前7時15分にセットした例です。午前・午後を間違えないよう、ご注意ください)

4 もう一度予約設定スイッチを押します。
時刻表示が現在時刻に変わり、給湯保温ランプの点滅が止まります。

5 給湯保温ランプが赤く点灯していることを確かめます。
給湯保温ランプが消灯している場合は、給湯保温スイッチを押して給湯保温ランプを点灯させます。

あとは3でセットした時刻の1分前になると自動的に運転スイッチが『入』になり、給湯保温運転に入り、給湯保温ランプが緑色に光ります。(その後約1時間以上お湯を使わなかった場合、自動的に給湯保温燃焼を行わない待機状態となり、給湯保温ランプは赤になります)

毎日同じ時間に予約する(予約時間を変更しない)場合は、1と5の操作だけで結構です。

予約時刻を確認したいときは、予約設定スイッチを押してください。

約10秒間予約時刻を表示してから現在時刻に戻ります。

給湯保温スイッチは、『入』の状態でも運転スイッチを『切』にすると自動的に『切』になり、再び運転スイッチを『入』にすると自動的に『入』になります。

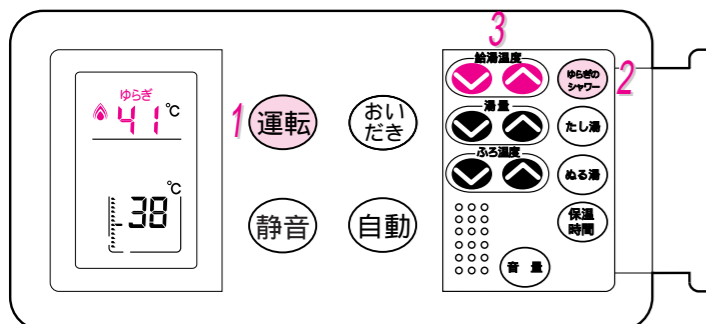
運転スイッチと給湯保温スイッチを『入』のままにしておけば、毎日同じ時刻に給湯保温運転に入ります。

給湯保温運転の予約を行いたくないときは、上記1・2・3の手順で「時」「分」スイッチ両方を同時に2秒以上押してください。時刻表示が「---」となり、予約運転を行わなくなります。

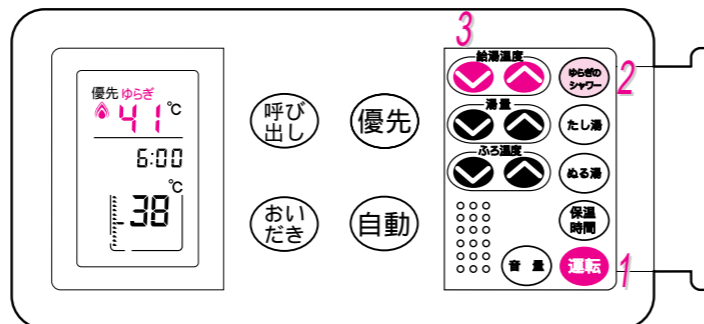
暖房燃焼時には、給湯保温の性能が十分に出ないことがあります。

浴室リモコンで操作します。

(138-3023)



(138-3023以外)



警告

高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。

やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。

下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。

- ・妊娠中の方
- ・医者から入浴を禁じられている方
- ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ・高血圧の方 / 体力の弱っている方 / 体調の悪い方

注意

給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。

サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。

なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

1 表示画面の点灯を確認めます。

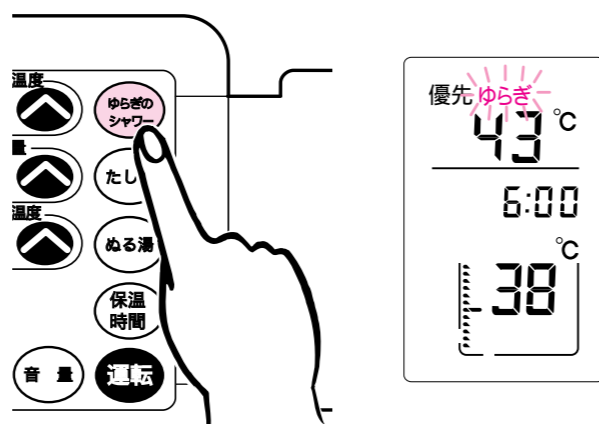
表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンの運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

138-3023

138-3023以外
(フタの中)

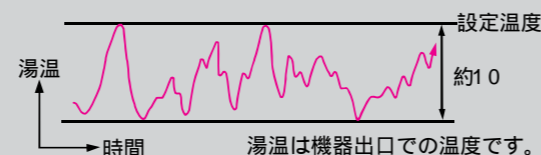


2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

- ・ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。



- ・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。



設定できる温度は39 ~ 44 の6段階です。

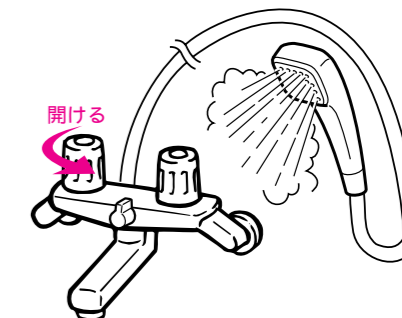
ゆらぎのシャワー温度

39 40 41 42 43 44

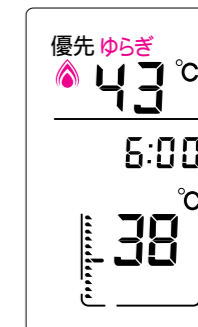
給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37・38のときには39、45以上のときには44のゆらぎのシャワーになります。

- ・ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ・ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所(および増設)リモコンに移り、給湯設定温度も台所(および増設)リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

4 シャワー栓を開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。

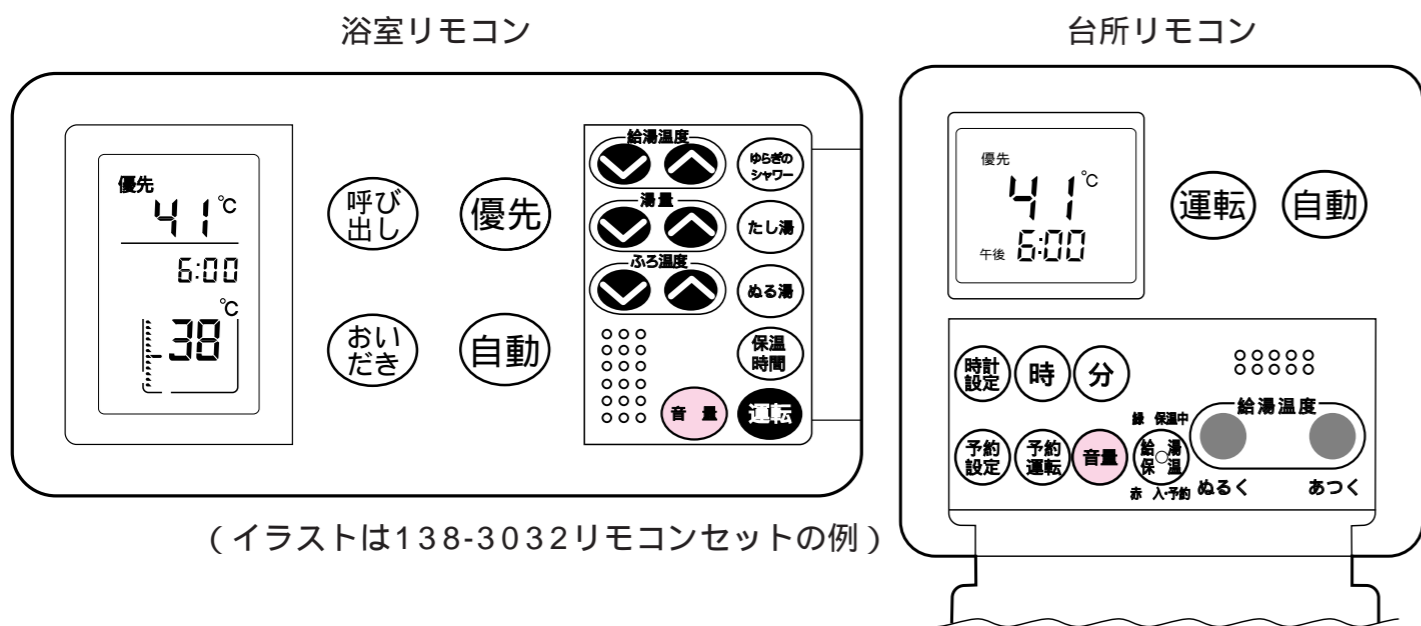


ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。

使用方法

音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。
各リモコン別々の音量にセットすることができます。
増設リモコンにはこの機能はありません。(音声も出ません)



(イラストは138-3032リモコンセットの例)

音声を変えたいリモコンの音量スイッチを押します。

運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定できます。



音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。音量スイッチを1回押すと「音声は大です」とお知らせして最大音量にセットされます。
もう1回押すと「音声を消します」とお知らせして音声・湯はり完了の音楽とも出なくなります。
以下1回押すたびに下表のように音声と湯はり完了の音楽の音量が変わります。

音量スイッチを押したときにお知らせする音声	音声	湯はり完了の音楽
初期設定	(ピッ)音声は標準です	中
1回押し	(ピッ)音声は大です	大
もう1回	(ピッ)音声を消します	なし
もう1回	(ピッ)音声は小です	小

もう1回押すと音声は中(標準)となり、以後上記を繰り返します。

音声なしにセットしても、注意を喚起する音声だけは消すことはできません。

各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。

()内は同時に出る電子音等

操作するスイッチ・条件等		浴室リモコンから出る音声	台所リモコンから出る音声	
運転「入」にする)	給湯温度が60 以外	(ピッ)		
	給湯温度が60 のとき	(ピッ)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます	
浴室 台所 へ優先切替	給湯設定温度変化なし	台所60 (ピッ)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます	
	給湯設定温度変化あり	60 以外	(ピッ)	
		台所60	(ピッ)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます
	60 以外	(ピッ)給湯温度が変更されました	給湯温度が変更されました	
優先	給湯設定温度変化なし	浴室60	(ピッ)あつい湯が出ます	
		60 以外	(ピッ)給湯温度が変更できません	
	給湯設定温度変化あり	浴室60	(ピッ)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます
		60 以外	(ピッ)給湯温度が変更できません	
給湯温度(60 に設定)	浴室リモコン優先のとき	(上がるメロディー)あつく	給湯温度が変更されました	
給湯温度(60 に設定)	浴室リモコン優先のとき	(上がるメロディー)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます	
給湯温度(60 に設定)	浴室リモコン優先のとき	(下がるメロディー)ぬるく	給湯温度が変更されました	
給湯温度(60 に設定) または	台所リモコン優先のとき	給湯温度は変更できません		
自動	湯はり終了5分前	音量設定大・中・小 (ビービーと約5回) 残りおよそ5分でおふろが沸きます	(ビービーと約5回) 残りおよそ5分でおふろが沸きます	
	自動湯はり終了時	音量設定大・中・小 (音楽) おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	(音楽) おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	
	おいだき	スイッチを押したとき (ピッ)		
	たし湯	スイッチを押したとき (ピッ)		
ぬる湯	スイッチを押したとき (ピッ)			
ゆらぎのシャワー	スイッチを押したとき (ピッ)			
ふる温度	(上がるメロディー)ふる温度をあつく			
	(下がるメロディー)ふる温度をぬるく			
湯量	(上がるメロディー)湯量を多く			
	(下がるメロディー)湯量を少なく			
保温時間	1回押し	(ピッ)保温時間が変更できます		
	0時間以外	(ピッ)保温時間が変更されました		
	0時間	(ピッ)保温しません		
音量	初期設定	中 (ピッ)音声は標準です		
	1回押し	大 (ピッ)音声は大です		
	もう1回	音消し (ピッ)音声を消します		
	もう1回	小 (ピッ)音声は小です		
呼び出し		(押ししている間ピーッピーッ)	(ピーッビビビビと約5回)	

操作するスイッチ・条件等		台所リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
運転「入」にする)	給湯温度が60 以外	(ピッ)	
	給湯温度が60 のとき	(ピッ)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます
給湯温度「あつく」	台所リモコン優先のとき	(上がるメロディー)あつく	給湯温度が変更されました
給湯温度(60 に設定)	台所リモコン優先のとき	(上がるメロディー)あつい湯が出ます	あつい湯が出ます
給湯温度「ぬるく」	台所リモコン優先のとき	(下がるメロディー)ぬるく	給湯温度が変更されました
給湯温度「あつく」または「ぬるく」	浴室リモコン優先のとき	給湯温度は変更できません	
自動	湯はり終了5分前	音量設定大・中・小 (ビービーと約5回) 残りおよそ5分でおふろが沸きます	(ビービーと約5回) 残りおよそ5分でおふろが沸きます
	自動湯はり終了時	音量設定大・中・小 (音楽) おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	(音楽) おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)
	初期設定	中 (ピッ)音声は標準です	
	1回押し	大 (ピッ)音声は大です	
音量	もう1回	音消し (ピッ)音声を消します	
	もう1回	小 (ピッ)音声は小です	
	時計設定・時・分	スイッチを押したとき (ピッ)	
ふる予約	スイッチを押したとき (ピッ)		
静音・暖房・予備暖房	スイッチを押したとき (ピッ)		

放熱器や床暖房コントローラで操作します。

⚠️ 注意

床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
 カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
 パネルヒータの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。

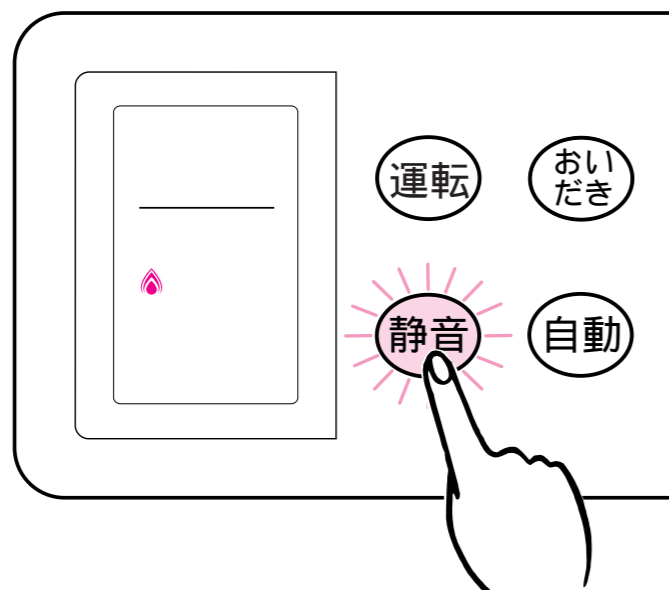
- ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
- ・疲労の激しいときや深酒をしたとき
- ・皮膚の弱い方

暖房する部屋の放熱器や床暖房コントローラの運転スイッチを「入」にし、温度調節つまみをお好みの温度にします。

(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

暖房運転中は表示画面に暖房燃焼表示(🔥)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ)

静音スイッチの使い方(このスイッチは浴室リモコン138-3023だけにあります)



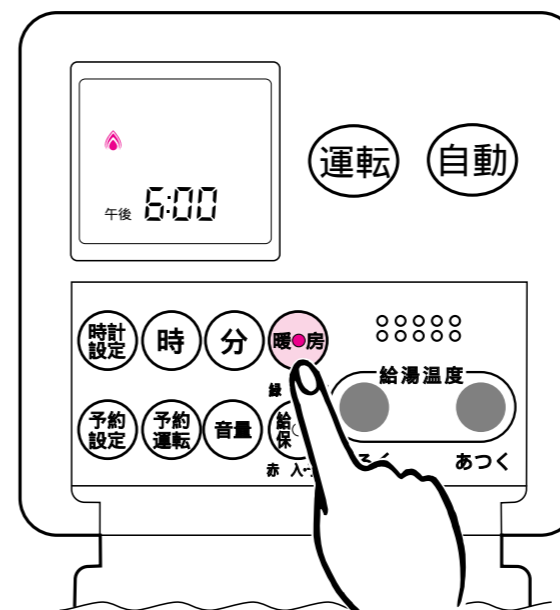
暖房の運転音を下げるスイッチです。(このとき、暖房能力は少し低下します)

静音運転中は静音スイッチがオレンジ色に光ります。

静音スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。

通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、「静音」スイッチを押すことで暖房能力を少し低下させ、運転音を下げることができます。

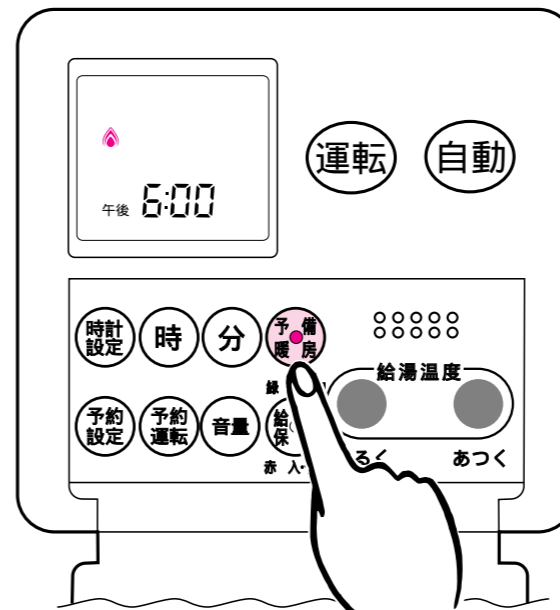
暖房スイッチの使い方(138-3033の台所リモコンのみ)



放熱器や床暖房コントローラの運転スイッチの「入」「切」で機器の暖房運転ができない場合は、台所リモコンのフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから放熱器を操作してください。

暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ(オレンジ)が点灯します。暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。

予備暖房スイッチの使い方(138-3034の台所リモコンのみ)



予備暖房に対応している浴室暖房乾燥機を使用している場合、この予備暖房スイッチで運転の「入」「切」ができます。

予備暖房スイッチが「入」のときは、予備暖房スイッチ中央の予備暖房ランプ(オレンジ)が点灯します。

予備暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。

予備暖房運転には、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。



- ・運転開始は入浴される約30分前から行ってください。
- ・予備暖房時間は、浴室の種類や大きさ・気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。

予備暖房運転とは

冬期が一番ぶるのように浴室が冷えているとき、入浴前に予備暖房をしておくと、温風によって浴室を暖め、入浴時に感じる肌寒さをやわらげてくれます。

冬期の凍結による破損防止について

(暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください)

⚠️ 注意

冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。

外気温が極端に低く(-15以下)なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その1では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その2・その3の方法を行ってください。凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

暖房の凍結予防について

- ・外気温が0近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。
(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- ・「❄️」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- ・不凍液を入れる方法もあります。



対策その1

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

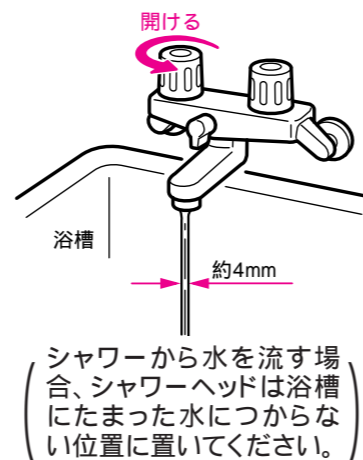
操作のしかた この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)と自動ポンプ運転装置(ふろ・暖房側)が組み込まれています。電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意ください。機器が外気温を感知し、自動的に作動します。このため寒冷時には、『浴槽の残り湯を捨てず、そのまま』にしておいてください。また、水位が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。

対策その2

給湯栓から水を流す方法

この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ・暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その1同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上上まで残り湯があることを確認してください。

操作のしかた リモコンの運転スイッチを『切』にします。ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結予防のため)浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。この場合、浴槽から水があふれることがあります。サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



⚠️ 注意

水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。

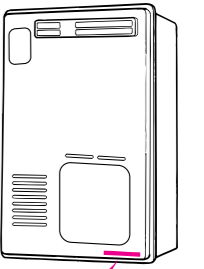
対策その3

水抜きによる方法

機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長時間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの『水抜き』を行ってください。給湯使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

暖房側の『水抜き』は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。水抜きするときは、電源、信号線、熱動弁にかからないようホース等で受けてください。



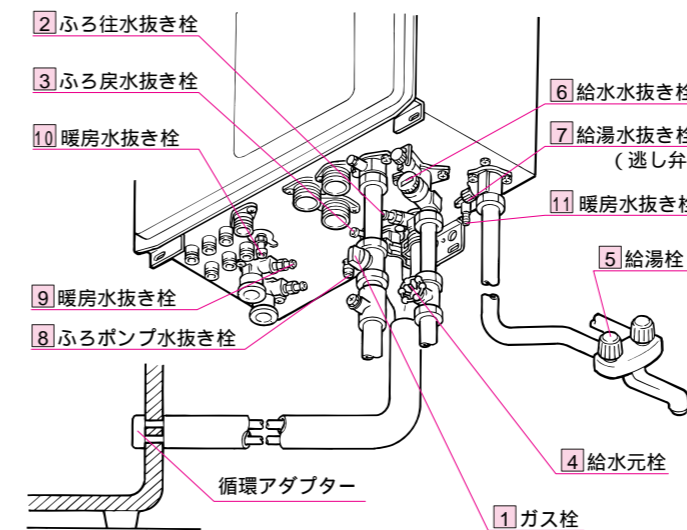
ラベル
不凍液が入っています
または
不凍液が入っていません
が張ってあります。

給湯側・ふろ側で行います。

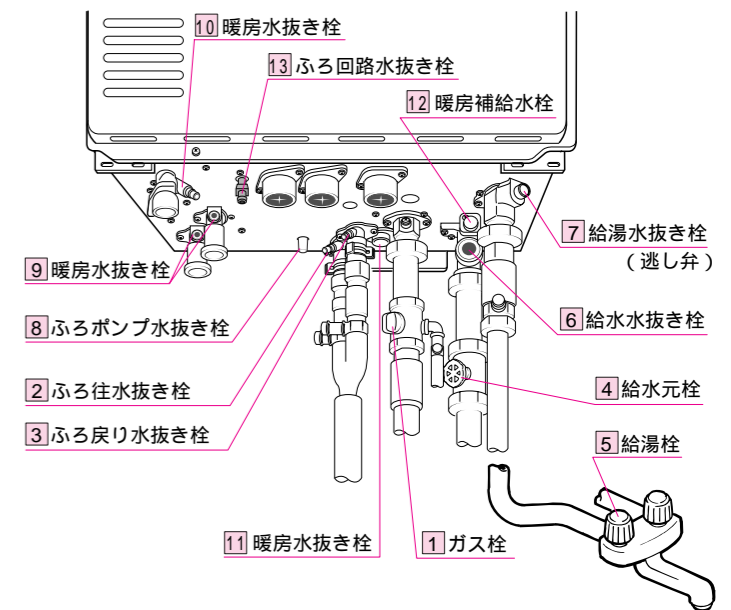
1. 給湯側の水抜き

- ガス栓①を閉めてください。
- 給水元栓④を閉めてください。
- 給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- 給水水抜き栓⑥・給湯水抜き栓⑦を開けてください。

135-2000/5000以外



135-2000/5000



2. ふろ側の水抜き

- ガス栓①を開けてください。
- 給水元栓④が閉まっていることを確認してください。
- 浴槽の水を排水してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- 浴室リモコンのおいだきスイッチを押して(『入』にする)浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。

冬期の凍結による破損防止について

排水が止まったら再度おいだきスイッチを押して(『切』にする)ください。

排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。

ふる往水抜き栓②・ふる戻水抜き栓③・ふるポンプ水抜き栓⑧を開けてください。
ガス栓①を閉めてください。



- ・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。
- ・ふるの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

暖房側の水抜き

暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

ガス栓①が閉めてあることを確認してください。

給水元栓④が閉めてあることを確認してください。

暖房水抜き栓⑨・⑩・⑪を開けてください。

リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。

電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

《水抜き》をした機器を、次に使うときは...

1. 機器給湯側に通水してください。

給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。

給水水抜き栓⑥・給湯水抜き栓⑦を閉めてください。

給水元栓④を全開にしてください。

給湯栓⑤を開け通水を確認した後、給湯栓⑤を閉めてください。

2. 機器ふる側に通水してください。

ふる往水抜き栓②・ふる戻水抜き栓③・ポンプ水抜き栓⑧をすべて閉めてください。

暖房水抜き栓⑨・⑩・⑪をすべて閉めてください。

電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)

ガス栓①を全開にしてください。

リモコンの自動スイッチを押す(『入』にする)と自動的に注水されます。

表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。

もう一度自動スイッチを押す(『切』にする)と、湯はりを中止します。

通水後初めて暖房・自動・おいだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」

が点滅する場合は、暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。



再度使う場合の《通水》は、給湯側から行ってください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。

お手入れは、必ずガス栓を閉め電源プラグを抜き機器が冷めてから行ってください。
フロントカバーなどは決してはずさないでください。

点検...次のことにご注意ください。

運転中に機器から異常音が聞こえますか？

機器の外観に異常は見られませんか？

機器のまわりや排気口・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか？

給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。

機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

お手入れ方法は

機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンは使わないでください。

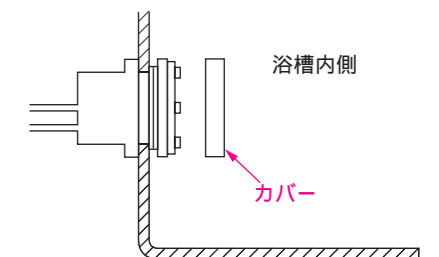
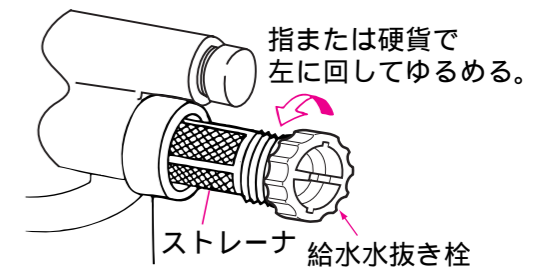
給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

必ず給水元栓を閉めてから行ってください。機器の給気口(フロントカバーの穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

循環アダプターのお手入れは循環アダプターのカバーをはずし、こまめに掃除してください。フィルタは手ではずせません。掃除後は必ずフィルタをもと通りに取り付けて使用してください。フィルタを取りはずしたまま使用すると、機器の故障の原因となります。



リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。






故障！とお考えになる前に

次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理由
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
ゆらぎのシャワーができない ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
冬期など寒いときおいだきのポンプ・暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	凍結による破損防止のため、凍結予防運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。
おいだき運転の途中でポンプが停止し、給湯燃焼表示が点灯する	おいだき運転開始時にふる水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約6リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯(水)がない場合やおいだき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時刻表示が ^年 後-:-になっている (台所リモコン設置時のみ)	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が ^年 後-:-になります。再度設定しなおしてください。(15ページ以降参照)
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。
浴槽の残り湯を排出するとき、循環アダプターからお湯が出る (全自動タイプ)	「セルフクリーン機能」がはたらいているためです。リモコンの運転スイッチが『切』のときに排水すれば、お湯は出ません。(6ページ参照)
リモコンの表示よりあつい(ぬるい)お湯が出る	給水温が高い場合は表示よりあついお湯が、湯量が給湯能力以上の場合は表示よりぬるいお湯が出る場合があります。湯はり中は表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。
ときどき(1ヶ月に一度)機器を使用していないのにポンプの回転音(ウンという音)がする	暖房回路の空気抜きを行うため、約1ヶ月に一回暖房ポンプが自動的に回転することがあります。異常ではありません。
逃し弁(36ページの図中の7)からお湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。

次のような場合は、ココをお調べください。

こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
	停電していませんか。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	給水元栓が全開になっていますか。
	断水していませんか。
湯はり時間が長くなる	おふろの排水栓はしっかりはまっていますか。 (湯はり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はりが停止します)
「給湯燃焼表示」  が点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。
	給水元栓が全開になっていますか。
	断水していませんか。
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。
	湯温調節は適切ですか。
湯温が変動して安定しない	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60 に設定してください。
	ゆらぎのシャワーになっていませんか。(29ページ参照)
「ふる燃焼表示」  が点灯しない	運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確認した後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障(水量制御装置)ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
	ガス栓が全開になっていますか。
おふろ使用中に消火した	浴槽に水が入っていますか。
浴槽の水があつい(ぬるい)	ガス栓が全開になっていますか。
浴槽の水が少ない(多い)	ふる温度の設定は適切ですか。(17ページ参照)
	湯はり量(水位)の設定は適切ですか。(19ページ参照) (浴槽の残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をした場合、水位が高めになり、お湯があふれることがあります)
「暖房燃焼表示」  が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

故障！とお考えになる前に

135-1300～1306/1400～1406/2000/5000型をお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから右図の2つのスイッチを同時に1秒以上押し続けてください。電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記憶内容の消去はできません。

2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

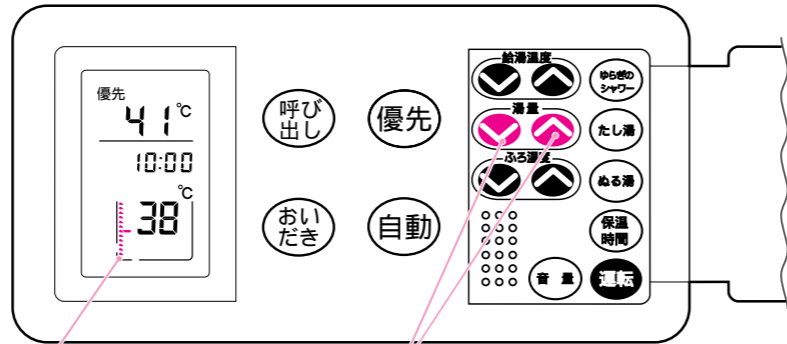
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

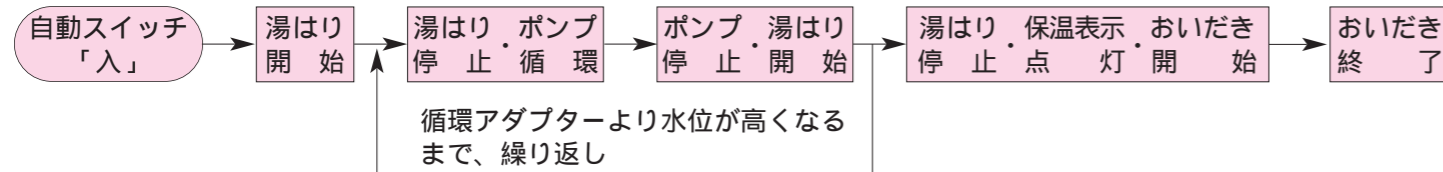
4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はりが開始されます。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。

運転中何回か停止しますが異常ではありません。



自動運転の動き(例)



試運転の終了まで、20～30分かかります。

5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

長期間使用しない場合は

長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1. ガス栓を閉めます。

全閉にする

機器の下部

2. 給水元栓を閉めます。

全閉にする

機器の下部

3. 機器の水抜きをします。(36・37ページ参照)

4. 電源プラグを抜きます。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

機器付近の壁・分電盤

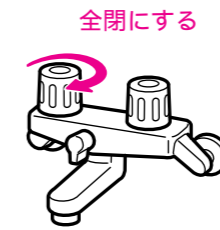
故障・異常の見分け方と処置方法

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、浴室リモコンや台所・増設リモコンは運転スイッチ(緑)も点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1. ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。



2. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。



3. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



4. 再び使用してみてください。

上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。(給湯栓を一旦閉めると表示されなくなる故障表示もあります)

浴室リモコン

台所リモコン
増設リモコン



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
032	自動 おいだき たし湯 ぬる湯	252	自動	432	自動	632	自動 おいだき
111	給湯 自動 たし湯	310	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	433	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	710	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
113	自動 おいだき 暖房	312	自動 おいだき	502	自動 たし湯 ぬる湯	721	給湯 自動 (おいだき) たし湯
121	給湯 自動 たし湯	313	自動 おいだき 暖房	521	給湯 自動 たし湯	723	(給湯・たし湯) 自動 おいだき 暖房
140	給湯 自動 おいだき たし湯	321	給湯 自動 (おいだき) たし湯	523	自動 おいだき 暖房	901	給湯 自動
161	給湯 自動 (おいだき) たし湯	322	自動 おいだき	543	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	991	給湯 自動
173	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	323	自動 おいだき 暖房	611	給湯 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	903	自動 おいだき 暖房
190	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	331	給湯 自動 たし湯	613	給湯 自動 おいだき たし湯 ぬる湯	993	自動 おいだき 暖房
101	給湯 自動						
103	自動 おいだき 暖房						

101・103を表示しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態ですので、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

主な仕様・能力表

品名	135-0040	135-0044	135-0042	135-0045	135-0046
品名	RUFH-V2400SAW2-1	RUFH-V2400SAA2-1	RUFH-V2400SAT2-1	RUFH-V2400SAB2-1	RUFH-V2400SAU2-1
品名	135-0030	135-0034	135-0032	135-0035	135-0036
品名	RUFH-V2400SAW2-6	RUFH-V2400SAA2-6	RUFH-V2400SAT2-6	RUFH-V2400SAB2-6	RUFH-V2400SAU2-6
品名	135-1400	135-1404	135-1402	135-1405	135-1406
品名	RUFH-V2400AW2-1	RUFH-V2400AA2-1	RUFH-V2400AT2-1	RUFH-V2400AB2-1	RUFH-V2400AU2-1
品名	135-1300	135-1304	135-1302	135-1305	135-1306
品名	RUFH-V2400AW2-6	RUFH-V2400AA2-6	RUFH-V2400AT2-6	RUFH-V2400AB2-6	RUFH-V2400AU2-6
型式名	RUFH-V2400AW(SAW)	RUFH-V2400AA(SAA)	RUFH-V2400AT(SAT)	RUFH-V2400AB(SAB)	RUFH-V2400AU(SAU)
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはPSアルコーブ設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(扉内)設置 前方排気型	パイプシャフト設置またはパイプシャフト扉内設置 後方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト扉内設置 上方排気型
外形寸法 (mm)	幅480×奥行250×高さ750				
質量 (kg)	42				
温度調節	給湯	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)			
	浴室リモコン 台所リモコン	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)			
温度調節	ふろ	温度設定可変型(約37 ~ 約48)			
	暖房	2温度型は約80 および約60 、1温度型は約80			
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト点火)				
接続	ガス	20A(R3/4)オネジ			
	給水・給湯	20A(R3/4)オネジ			
接続	暖房(往・戻)	135-0030~0036/1300~1306の低温往QFジョイント継手、左記以外:QF16ジョイント用継手			
	ふろ(往・戻)	QF16ジョイント用継手			
電気関係	電源	AC100V			
	リモコン側	DC24V以下			
電気関係	消費電力 W	無負荷時	5		
	(50/60Hz)	同時使用	270 / 335	285 / 350	290 / 365
電気関係	凍結予防ヒータ	152			
	電源ケーブル/リモコンケーブル	VCT(2心)2.0m / VCTまたはVCTF(2心)			
安全装置	流水検知装置(水量センサ) 空焚安全装置(水位電極) 送風検知装置(回転数検知方式) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 漏電安全装置(漏電遮断器) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 過圧防止安全装置(スプリング式)				

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量:kW ()内はkcal/h			出湯能力(能力最大):L/min		
	同時使用時	給湯	暖房	25 上昇	40 上昇	
都市ガス用	13A	69.2(59,500)	52.3(45,000)	17.4(15,000)	24.0	15.0
	12A	64.4(55,400)	48.7(41,900)	16.3(14,000)	22.3	13.9
L P ガス用		69.2kW(4.94kg/h)	52.3kW(3.75kg/h)	17.4kW(1.25kg/h)	24.0	15.0

出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	135-2000	135-5000
品名	RUFH-VD2400AW2-1	RUFH-VD1610AW2-1
型式名	RUFH-VD2400AW(SAW)	RUFH-VD1610AW(SAW)
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	
外形寸法 (mm)	幅470×奥行270×高さ600	
質量 (kg)	39	37
温度調節	給湯	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)
	浴室リモコン 台所リモコン	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)
温度調節	ふろ	温度設定可変型(約37 ~ 約48)
	暖房	2温度型(約80 および約60)
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト点火)	
接続	ガス	20A(R3/4)オネジ
	給水・給湯	20A(R3/4)オネジ
接続	暖房(往・戻)	15A(R1/2)オネジ
	ふろ(往・戻)	QF16ジョイント用継手
電気関係	電源	AC100V
	リモコン側	DC24V以下
電気関係	消費電力 W	4
	(50/60Hz)	同時使用
電気関係	凍結予防ヒータ	220 / 280
	電源ケーブル/リモコンケーブル	160
安全装置	流水検知装置(水量センサ)	VCT(2心)2.0m / VCTまたはVCTF(2心)
	空焚安全装置(水位電極)	凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転)
安全装置	送風検知装置(回転数検知方式)	漏電安全装置(漏電遮断器)
	炎検知装置(フレームロッド方式)	過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ)
安全装置	過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ)	誘導雷保護装置(サージアブソーバ)
	誘導雷保護装置(サージアブソーバ)	過圧防止安全装置(スプリング式)

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表(135-2000型)

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量:kW ()内はkcal/h			出湯能力(能力最大):L/min		
	同時使用時	給湯	暖房	25 上昇	40 上昇	
都市ガス用	13A	63.0(54,200)	50.0(43,000)	13.0(11,200)	24.0	15.0
	12A	58.7(50,500)	46.6(40,100)	12.1(10,400)	22.3	13.9
L P ガス用		63.0kW(4.51kg/h)	50.0kW(3.57kg/h)	13.0kW(0.93kg/h)	24.0	15.0

出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

ガス消費量・出湯能力一覧表(135-5000型)

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量:kW ()内はkcal/h			出湯能力(能力最大):L/min		
	同時使用時	給湯	暖房	25 上昇	40 上昇	
都市ガス用	13A	47.0(40,400)	34.0(29,200)	13.0(11,200)	16.0	10.0
	12A	43.8(37,600)	31.7(27,200)	12.1(10,400)	15.0	9.4
L P ガス用		47.0kW(3.37kg/h)	34.0kW(2.43kg/h)	13.0kW(0.93kg/h)	16.0	10.0

出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

主な仕様・能力表

品名	135-4060	135-4064	135-4062	135-4065	135-4066
型式名	RUFH-V1612SAW2-1	RUFH-V1612SAA2-1	RUFH-V1612SAT2-1	RUFH-V1612SAB2-1	RUFH-V1612SAU2-1
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはPSアルコーブ設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(扉内)設置 前方排気型	パイプシャフト設置またはパイプシャフト扉内設置 後方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト扉内設置 上方排気型
外形寸法 (mm)	幅480×奥行250×高さ750				
質量 (kg)	40				
温度調節	給湯	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)			
	浴室リモコン 台所リモコン	温度設定可変型(約37 ~ 約48 ・約50 ・約60)			
点火方式	ふろ	温度設定可変型(約37 ~ 約48)			
	暖房	約80 および約60			
接続	ガス	AC100V連続放電式(ダイレクト点火)			
	給水・給湯	20A(R3/4)オネジ			
	暖房(往・戻)	15A(R1/2)オネジ			
電源	リモコン側	DC24V以下			
	消費電力	4			
関係	無負荷時	255 / 310			
	同時使用	285 / 340			
安全装置	凍結予防ヒータ	152			
	電源ケーブル/リモコンケーブル	VCT(2心)2.0m / VCTまたはVCTF(2心)			
安全装置	流水検知装置(水量センサ)	空焚安全装置(水位電極)			
	送風検知装置(回転数検知方式)	凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転)			
	立消え安全装置(フレイムロッド方式)	漏電安全装置(漏電遮断器)			
	過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ)	誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 過圧防止安全装置(スプリング式)			

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量:kW ()内はkcal/h			出湯能力(能力最大):L/min		
	同時使用時	給湯	暖房	25 上昇	40 上昇	
都市ガス用	13A	51.4(44,200)	34.0(29,200)	17.4(15,000)	16.0	10.0
	12A	47.9(41,200)	31.6(27,200)	16.3(14,000)	15.0	9.4
LPGガス用		51.4kW(3.68kg/h)	34.0kW(2.43kg/h)	17.4kW(1.25kg/h)	16.0	10.0

出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

39~42ページの「故障!とお考えになる前に」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓・給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

- ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
- 品名...135-0030~0036型・135-0040~0046型・135-1300~1306型・135-1400~1406型・135-4060~4066型・135-2000/5000型
(品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります)
- 現象...できるだけ詳しく
- 訪問ご希望日

(N)135-0030(U)
大阪ガス株式会社

転居または機器を移設される場合

ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

設備場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

この機器には保証書が付いています。

保証書に記載のように、給湯暖房機の故障について修理いたします。

詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

修理用性能部品の保有期間について

無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

この機器の修理用性能部品の保有期間は10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

アフターサービスなどの連絡先

お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

 **危険**

ガスクさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

H84-904x05(00)
021128



060 00000 38348 0